

鶴翔

kakusho

題字／初代会長
故・田倉八郎氏

鶴翔 第42号 平成24年4月23日発行
発行 東京鶴翔同窓会
発行人 坂田敬一 (42年74回卒)
編集人 衣笠博子 (42年74回卒)

写真／2011年 赤川花火大会 (鶴岡青年会議所)

走るのが遅く、運動会が嫌いだった。
手がはこくて鉛筆が動かなかった吹雪の日。
父ちゃんが飲んべえで、給食費が払えなかった。
父ちゃんと母ちゃんはけんかばかりで
ちゃぶ台がひっくり返った。
子どもなんか生むんじゃなかった、
これが母の口癖だった。
自分は生きていいんだか? と疑った小学校時代。

プレスリーに憧れ、アメリカ行く。
これが中学校時代の夢だった。

鶴南に入った時は、
勉強ばかりが生きがいみたいな周りに驚いた。
大学ばかりが人生じゃないだろう、と抗った。

目的もなく受かってしまった大学は授業料闘争と
安保の真っ盛り。
勉強らしい勉強もせずに卒業してしまった。

今や…あれから40年。
そんなこんなの思い出も、過ぎてしまえば
みんな美しく笑って語れる仲間がいる。
人が一杯いるのに、一人ぼっちに泣いた東京で
"同郷人"のなんてなつかしくあったこい匂い!

60年以上も人間やってたら、色んな傷も、
色んな埃も身についているさ。
でもね、ここまで生きてるっていうこと、
それを理屈なしに褒めてやっても
罰はあたらなと思う。
だまされたと思ってまんずらばえっちゃ。

人生の最終章を迎える出発点に立てるよ!

(副実行委員長・千田優子/42年74回卒)

[1]

第42回 総会の テーマ

「こんな時だからこそ」
まぶしさを
感じた
涙を
拭いて
さあ
さあ
さあ

第42回 東京鶴翔同窓会のご案内

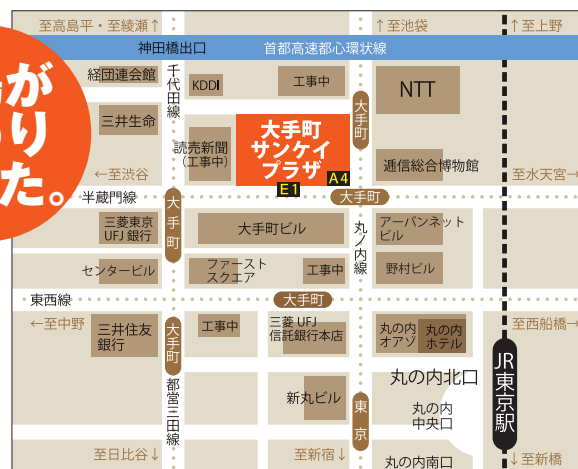
●日時：平成24年6月16日 土

14:00~16:30 (受付開始13:00)

●場所：大手町サンケイプラザ 4階ホール
千代田区大手町1-7-2 ☎03-3273-2258~9

●交通：[地下鉄]丸ノ内線、東西線、千代田線、半蔵門線、三田線で
大手町下車 (A4・E1 出口直結)
[JR線] 東京駅丸の内北口より徒歩約7分

会場が
変わりました。



●会費：一般会員……………8,000円
高齢会員 (昭和25年卒以前)……………4,000円
学生会員……………4,000円

他に東京鶴翔同窓会年会費、一口1,000円ですが、
何卒、二口以上のご協力を賜りたくお願い申し上げます。

★出欠の返事：5月20日(日)までに同封のハガキ、
または東京鶴翔同窓会ホームページにてお願いします。
<http://www.tokyokakushou.com>

2次会は! 17:00より向かい大手町ビル・地下『素材屋』にて。



東京鶴翔同窓会 会長
菅 徹 (昭和37年69回卒)

心の中にはいつもいる…… 故郷そして母校

昨年を表す漢字「絆」は、「馬や牛を柵につなぎとめておく綱」あるいは「離れにくいつながり」が本来の意味とすることで、人々を結び付けるのに綱の役割を担うのが「共通認識」という人間が授かった高度な感知能力なのでしょう。

同窓会はこの高度な「共通認識」が凝縮され、世代を越えて「極限の仲間意識」にまで昇華した大いなる集団であるといえます。わが母校は創立百二十年を超え

の「認識認知」でありましょう。この本能のつながりは、結構粘っこく蜘蛛の巣のごとく一旦かかるとなかなかにははずれ難く、今年の総会実行委員諸氏も心血を注いで入念に張り巡らしています。一旦絡め取られるとなかなかにして「離れにくい」ばかりでなく、いたって心地よく、いつまでもかかっていたくなるので、「故郷喪失」とは無縁であり、ここに来れば「庄内と母校の匂い」に満ちています。このような場と機会が四十年以上も用意され、そしてこれからもずっと続く。大変幸せなことと思わずにはおられません。



鶴翔同窓会 会長
石黒 慶一 (昭和35年67回卒)

方言の力

菅会長始め本総会実行委員会の皆様の周到なご準備の下、第42回東京鶴翔同窓会総会が、盛大に開催されますことにお慶び申し上げますと共に、東京鶴翔会の皆様からの鶴翔同窓会への日頃のご理解とご支援に心からの敬意と感謝を申し上げます。

昨年は東日本大震災という未曾有の災害があり、今なおその復興が道半ばであることは残念ではあります。これを機に日本のみならず世界との絆が強くなったことは幸いでした。大震災の報道を見ていると被災地には方言があるからこそ絆が強まり、頑張っていく姿が感じられました。

「鶴岡弁」で表現されておられますが、いつも方言の温かみを感じております。第42回総会テーマ「まんず来ばえっちゃ元気でっぞ!!」を知らせて頂いた時、このテーマには方言の温かみ、励ましと連帯感と致します。

一庄内の歴史と風土をたずねて—
財団法人 **致道博物館**
〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18
TEL 0235-22-1199
<http://www7.ocn.ne.jp/~chido/>
E-mail: chido@axel.ocn.jp

銘酒
酒は大山愛の酒
お酒は20歳になってから
加藤嘉八郎酒造株式会社
〒997-1124 鶴岡市大山3-1-38 TEL0235 (33) 2008

楽天トラベルアワード2011
プレミアム部門お客様アンケート大賞を受賞しました!
孟宗の膳 平成24年 5月6日(日) ▶ 5月31日(木)
山形県 湯田川温泉 **丸太旅館** / 別館 たまや **珠玉**
平日2名様1室 九兵衛旅館15225円～、珠玉や13125円～
〒997-0752 山形県鶴岡市湯田川乙19 ホームページ **丸太旅館** 検索
TEL.0235(35)2777 専務取締役 大滝研一郎(昭和62年卒)

あいたい! ふるさとへの近道
鶴岡江戸屋敷
鶴岡市東京事務所
〒134-0088 江戸川区西葛西7-28-7
TEL 03-5696-6821
FAX 03-5696-6822
E-mail: tokyo@city.tsuruoka.yamagata.jp

International Wine Challenge 2009, TROPHY
WGO 2012 最高金賞受賞
2011 全国新酒鑑評会 第一部 連続金賞受賞記録
永久日本一日本
全国唯一 鶴岡米 100% 酒造
白露垂珠 風土を醸す **露の雫** (資)

初宮・安産祈願・厄除等
越谷香取神社
宮司 小林桂子(昭46卒)
〒343-0025 埼玉県越谷市大沢3-13-38 TEL048(975)7824
HP <http://www16.ocn.ne.jp/~katori/>

忘れてませんか? **庄内弁** あっちゃけ=ばか→「あっちゃげだごというな」=「馬鹿なことをいうんじゃない」
あっぱあっぱでう=がばがばする→「このくづだば、あっぱあっぱでう」=「この靴は、大きすぎてがばがばする」



元気でつぞぞ!
鶴岡南高等学校長
田中 芳昭 昭和46年78回卒

昨年の「東京鶴翔同窓会」で、母校で初めて担任した生徒に出会った。高校生の時の面影がはつきりと残っていて、すぐに分かった。懐かしくもあり、会場のあちこちで、会う人会う人に、自慢げに「担任した教え子です」と紹介して回った。東京で頑張っている話を聞き、自分も頑張らねばと逆に元気をもらったような気がした。

鶴翔同窓会にご招待いただき、小・中・高の同級生と出会い、お互いにびつくりした事、サッカー部の大先輩・恩師の同級生の方々には、後輩として「気合い」をいただき、また、数多くの教え子たちには、本人も覚えていないエピソードなどを語られ赤面したこともある。

より広い所に変更する予定と伺った。鶴岡(本部)も負けてはいられない。今年の創立記念日(7月1日)に、ノーベル物理学賞を受賞された益川敏英先生の記念講演を企画している。実現すれば、湯川秀樹先生以来ということになる。丁度日曜日ということもあり、市民の方々からも多数参加をいただき、鶴岡市文化会館を満員にしたいと思っている。



鶴岡市長
榎本 政規 昭和43年75回卒

地域資源を生かした地域づくりへ

東京鶴翔同窓会の皆様には、日頃より鶴岡市の発展に格別のご理解とご協力をいただき、特に企業誘致や産直販売交流事業などに際しましては、一方ならぬご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

文化都市、観光文化都市、学術文化都市、安心文化都市、森林文化都市の5つの文化都市を掲げ、成長戦略を遂行しております。特に今年度は、地域の食文化を産業振興や学術振興に活かすため、ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟を目指した取り組みを市民の皆様と力を合わせて行うなど、地域の資源を活かした事業を展開

東日本大震災から一年余り経ち、これまで皆様方から温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。今後も東北の復興に向け、様々な事業を展開して参ります。新鶴岡市の誕生から6年。創造

参ります。また、本年3月には待望の日東道温海―鶴岡間が開通しました。この開通は、本市そして庄内の観光にとっても大きな後押しになり、温泉やミシユラングリーンガイドで高い評価を受けた出羽三山など豊富な観光資源と、四季折々の美しい食をより多くの方々に情報発信し、誘客に務めて参ります。

結びに、東京鶴翔同窓会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝をお祈りいたします。

庄内映画村「オープンセット」
庄内映画村「資料館」
↑宿場町エリアで殺陣の体験も

庄内映画村株式会社
〒997-0158 山形県鶴岡市羽黒町松ヶ岡字松ヶ岡 29 番地
TEL 0235-62-2080 (代表) http://www.s-eigamura.jp/

「新クラゲ水族館」に向けて10月着工!!
鶴岡市立
加茂水族館
山形県鶴岡市今泉字大久保656
0235(33)3036 FAX.0235(33)1129

日本海と庄内平野を一望する
【白砂青松コース】
湯の浜カントリークラブ
TEL・0235(75)2044

酒造資料館あります
映画上映・試飲コーナーなど

酒王 初孫
東北銘醸株式会社
酒田市十里塚字村東山125番地の3
TEL 0234(31)1515 FAX 0234(31)5588
URL http://hatsumago.cp.jp

「あったらいいな」に応えます。
庄内銀行
© SONY CREATIVE PRODUCTS INC.

朝明けは紫に映え、夕日は黄金に輝き、そのすそを日本海にひたす出羽富士鳥海山を想い起こして!!
湯野浜温泉 **竹屋ホテル**
佐藤 えみ (73 回卒)
〒997-1201 鶴岡市湯野浜温泉 1-9-25
TEL 0235(75)2031 FAX 0235(75)2040

[3] 忘れてませんか? 庄内弁 かだる = 仲間に入る → 「かだっが?」「かだね」=「仲間に入るか?」「入らない」
けげし = 賢い → 「けげしこだごと」=「賢い子だねえ」 こちょばす = くすぐる → 「こちょばすな」=「くすぐらないで」



元気がでます!!
第42回東京鶴翔同窓会 実行委員長
坂田 敬一 (昭和42年74回卒)

昨年3月の東日本大震災の後は正直元気が出ませんでした。私自身、東京において帰宅難民になりました。計画停電では電車も動かず、交通信号もなし、近所も明かりなし。久々に蠟燭の明かりで過ごす時間は、テレビもファンヒーターもなく外がやけに静かに感じられ、家族一同一部屋に顔を揃えていることが不思議な思いました。あれから1年が経ちました。復興の力強い植音が聞こえてくると、

を向いています。会場は手狭になったこれまでの海運クラブから大手町サンケイプラザに変更し、新しい新たに東京鶴翔同窓会を開催いたします。

今回実行委員の多くは63歳、これまで同窓会に一度も参加していない者が多数です。でも、何か結びつくものがあるのか、あったのか、今は同窓会参加の皆さんに満足していただけるよう力を合わせ準備を進めています。これまで一度も参加していない同窓生の皆さん、いつも参加している皆さん、是非新しい会場・サンケイプラザに足を運んでみてください。元気がでます!!



楽しい! あなたも実行委員をやりませんか
第41回東京鶴翔同窓会 副実行委員長
江部 信夫 (昭和51年83回卒)

私は元々は鶴南に母校愛のない人間でした。卒業後に進んだ大学や就職した役所の人たちとは交流していましたが、なぜか鶴南の同級生とは付き合いを持ちたくない気持ちの方が強かったのです。ところが、12年前のある日、一人の同級生から「鶴翔塾」に誘われたことがきっかけでとうとう鶴翔同窓会の副実行委員長をするに至りました。塾は当時マンネリ化した日々を過ごしていた私にとっ

て新鮮なものでした。鶴南の卒業生で各界で活躍中の方の講演会とその後の懇親会(参加者の皆さんとの飲み会兼情報交換会)はさながら異業種交流会です。その後、年に1~2回開かれる塾に何度か通っているうちに自然に鶴翔同窓会の実行委員の一人に加わるようになったのです。さて、東京鶴翔同窓会は東京近圏在住の同窓生約3600名で組織され、年1回、6月の土曜日に

総会を開催しています。総会の実行委員は10年に1回、卒業回順に担当し、40歳代から70歳代位まで10歳さざみのメンバーで構成されます。何回か打合せ会議に参加し、総会当日の運営までやるのですが、会議は毎回賑やかで楽しい時間でした。私の場合10歳上の先輩方の熱意と人柄に引かれ、総会終了後もお付き合いをいただいています。こうした活動に興味があり少し時間的余裕のある方は、是非ご参加ください。また「鶴翔塾」のことに関しましては、別ページで少し紹介しております。ご覧になって興味がおありでしたら、ご連絡いただけますようお願いいたします。

夜出発して、朝到着。
だから、時間が有効に使えます!
ゆったり3列シートの夜行高速バス
[夕陽号]をぜひご利用ください。



東京でのご予約・お問い合わせは…
03-5917-8510 国際興業バス
までどうぞ。(9:00~19:00・年中無休)
<http://5931bus.com/>

渋谷線・東京線(2路線) 好評運行中!!

横3列独立シートで
トイレ付き!
学生証提示で **20%オフ**



チケットのお申し込みは ▶ **鶴岡 TEL.0235-24-7600**
庄内交通 酒田 TEL.0234-24-7600
山形県鶴岡市御前2-60 TEL.0235-22-2600

MetLife Alico
メットライフ アリコ

まさし
大泉 正 (85回)
日本ファイナンシャルプランナーズ協会会員 No.903235
スカウト担当

〒103-0023 中央区日本橋本町 1-1-1
MetLife 日本橋本町ビル 4階
Tel: 03-5203-5871 Fax: 03-5202-9006

湯野浜温泉に泊まって『運転免許』を…
鶴岡自動車学園

代表取締役 齋藤 征士 (昭和37年)

〒997-0045 山形県鶴岡市西新斎町6-34
TEL0235-22-6200 (代)
<http://www1.ocn.ne.jp/tsuruoka/> E-mail: tsurums@poplar.ocn.ne.jp

医療法人社団 峯心会

ミネ歯科医院

峯 佳子 (旧姓・毛呂 / 83回)

MINE DENTAL CLINIC

二宮 〒259-0133 神奈川県中郡二宮町百合が丘 2-26-7
Tel 0463-70-3347 Fax 0463-70-3348
横浜 〒231-0866 神奈川県横浜市中区柏葉33 オークビル
Tel & Fax 045-662-2624

Grand el Sun AQ・SUN

新チャペルオープン! 見学・相談会随時開催

グランドエル・サン **アク・サン** 鶴岡・余目・あつみ・本町

山形県鶴岡市東原町17-7 TEL 0235-24-4633 山形県鶴岡市伊勢原町2-22 TEL 0120-91-5002

忘れてませんか? **庄内弁** こでらいね = こたえられない → 「こえだば、んめぐでこでらいね」 = 「これは、おいしくてこたえられない」
このじよ = このまえ → 「このじよ、わあえのあねちゃんどあたけ」 = 「このまえ、あなたの家のお姉さんと会ったよ」



東京鶴翔同窓会会報誌が届くと何か懐かしさが蘇える。普段でも新聞雑誌やテレビに郷里の事柄が報道されると、つい眼を凝らして見入ってしまう。

昨年、東日本大震災に出逢う。揺れの大きさに翻弄された。交通ストップ、七時間ほど歩き知人宅に深夜に着いた。途中食堂で御馳走になり他人の親切を頂き、体力を試される事でもあった。その後



南高のころ 佐藤 隆三

(昭和32年64回卒)

い起こした。国民学校に入学した暑い夏、冬は電信柱の天辺までの雪、疎開先から帰り変わりはてた街に全てが敗戦の結果なのかと思ひ込んだ。住いや学区、新制中学など何もかも変わり、ようやく南高に入学した頃に落着いた感があった。南高には冬でも高下駄で、デッコラが付きカラコンコロン通学した。街で高校生を見るにつけ、私共と異なる光景に出会う。公園近く

の公会堂脇にあった喫茶店に入っただけで不良と視られ、北高前も通ることさえ憚られたり、いままえば可笑しな時代であった。私は、なんとなく入学したこともあり、勉強はほどほど加茂港とは幼き云々などの壁落書きも多く、先生も生徒もチョッと風変わりだと思えた。弁当の早飯喰い、怒鳴るような講義、柔道など殆どが身に付かないひとときを過ごした。

こんな南高生ではあったが南高の醸し出す良さ環境なのだろう。何かしら身に付いた習慣や物の見方、変え難い仲間を得たことが今では何よりももの宝になっている。



勤労働員の中学時代 佐藤 良三

(昭和21年54回卒)

私ら昭和21年54回卒同期生が、平成15年に思い出の会誌発刊を企画し172頁にも及ぶ膨大な書を完成した。しかも235人(物故者約半数)の殆どの学友が70年前もの苦難のメッセージを回顧、寄稿してきたのには驚きと感激で一杯でした。

戦争末期の4年間で、まともな授業は1年のみで、2年生からは農家の田植え、稲刈りなどの勤労奉仕で、3クラスの生徒は分散さ

せられ、軍隊への志願者も多く、幼年学校、兵学校、予科練など90人近い仲間が門出した。私は駅前の飛行機工場のフラップ釘打ち作業に動員され、終戦の玉音放送を聞くときまで従事した。途中、陸軍の神町飛行場(現山形空港)建設の整地作業にも動員されたが、広大な桑畑の荒地開墾は少年には過酷で、しかも県内各地から動員された中学生は、モッコ担ぎの学校毎の競争で煽られ食事の時間も

ない始末で、加えて猛暑とバラック建ての寝食に耐え切れず脱落する者も出た。そして、やっと我が家へ戻ったと思いきや、羽黒山麓の松根油堀りに駆り出され、重い根っこの発掘、運搬、手向小学校での雑魚寝状態の悲惨さは思い出したくない事象だった。

このように、私どもの中学時代は勉強に励む余地はなく滅私奉公一筋であったので、傘寿を過ぎた今でも当時の思い出がフィードバックしてくる昨今である。

医療法人 楽生会

介護老人保健施設 きねぶち

〒306-0642 茨城県坂東市長谷 989-5
TEL.0297(47)3333 FAX.0297(47)3335
E-mail:inada@kine.jp



医療法人 楽生会

木根淵外科腸科病院

〒306-0632 茨城県坂東市辺田1430番地
TEL.0297-35-3131 FAX.0297-35-9792
http://kine.jp

内科 胃腸科 小児科

佐藤 医院

院長 佐藤 一夫(昭和40年)

〒134-0083 東京都江戸川区中葛西 1-4-16
TEL:03-3688-7460 FAX:03-3688-7419



医療法人社団

三浦産婦人科医院

院長 三浦 宏平(66回)

〒997-0024 山形県鶴岡市朝陽町 4-10
TEL.0235-22-0228 FAX.0235-25-9722
http://www6.con.ne.jp/~lcmiura1/

むかえだ歯科クリニック

迎田 洋 (昭和63年卒)

【診療時間】 平日 9:30~12:30/14:30~19:30
土曜 9:30~12:30/14:30~17:30
休診日 水・日・祝日

〒132-0015 東京都江戸川区西瑞江2丁目14-15 プリマ・クラッセ1F
TEL&FAX03-3670-1774

歯は健康の入口。
自己管理方法を身に付けましょう!

アリス 歯科

院長 林 るり子 (74回生・42年卒)

〒253-0035 茅ヶ崎市高田 4-4-5 稲岡ビル
TEL:0467-53-3210

[5] 忘れてませんか?
庄内 弁
じよなめる = 着飾る → 「そげじよなめでどさいぐや」 = 「そんなに着飾ってどこへ行くの」
じよんまで = 十文の価値 → 「こえだばじよんまでもね」 = 「こんなものは何の値打もない」



故郷とよべるところは
友澤 万里子 (昭和32年64回卒)

私達は、母の故郷・鶴岡に疎開した。翌春、第三小に入学し、学童疎開のさ中、終戦の日を迎えた。数回の転居後、三年生半ばに第一小に転校。言葉がわからず辛い日を過ごす。三中に入る頃には友人も出来、登校するのが楽しくなった。しかし二年生の春、父が病死。相変わらず苦しい生活が続いた。就職組で南高に進み、奨学金やバイトを学費に当てた。部活や、クラス対抗の球技大会での優勝、

卒業後、希望の科に就職が決まり、国家試験を経て、社会人となる。二年目の後半、早くも大きな壁にぶつかった。当時五日も続く夜勤に体調を崩しがちだった。しかし、一年もたないでは、どこにいても続かない。まず三年頑張ってみようと思いついた。そんな時、鶴岡で失った上の妹や父の姿を患者さんに重ね、自分なりの工夫や努力をするうちに、働く喜びと誇りを感じるようになり、定年まで完走することが出来た。恩師、友人、家族、多くの方達に少しは恩返しできただろうかと。私に、試験と希望を与えてくれた故郷は、そこしかない。



「醜いアヒルの子」が…
阿部 文治 (昭和33年65回卒)

昭和三〇年四月の入学式の時に、当時の学校長笹原儀三郎先生の第一声が今も頭の中に残っています。入学生の中に「醜いアヒルの子」が…と。

その当本人がこの場で書きを綴ることすら烏滸がましいですが、当時の想い出を少しお話しします。私は温海温泉に疎開しました。朝五時四〇分のバスに乗り遅れると一番列車に間に合わず、二番列車では二時間目の最中の登校とな

ります。ある日、部室で弁当を広げ食べ始めると、当時の生活指導部の難波喜美雄先生に見つかり、弁当の他に大目玉も喰らいました。以来卒業まで弁明不可能でした。当時も就職難で公務員第二種試験に合格しても事務職のあてがなく、正月過ぎてから大山で大工見習いに行き、「おしん」の様な生活を体験します。冬場には近くの農家へ行き、田んぼの用水で赤子のオシメを洗い、朝飯を有難く頂戴

TKC SYSTEMS KATO TAX CONSULTING OFFICE
会計で会社を強くする
加藤税理士事務所
<http://www.kato-ctao.com>
税理士 加藤千尋 (昭和61年卒)
山形県鶴岡市切添町12-40カトウビル2F ☎ 0235-22-6376

寒河江法律事務所
弁護士 寒河江 孝允 (昭和38年卒 70回生)
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-1 尚友会館ビル2階
電話 03-3502-0882 FAX 03-3502-0880

税理士法人 菅原会計 Rita tax office
税理士 菅原 幸生 (昭和56年卒)
〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目2番10号3階
電話:03-5807-3501 FAX:03-5807-3502

村田敏法律事務所
弁護士 村田 敏 (77回)
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-5-4
YKBマイクガーデン802号(丸の内線・新宿御苑駅より徒歩2分)
TEL:03-3352-5941 FAX:03-3352-6049

相続登記もお気軽にご相談ください
Link 法務事務所
代表 司法書士 飯田 宏
〒151-0073 東京都渋谷区笹塚1-30-10 3F (京王線笹塚駅南口徒歩1分)
tel:03-6276-5678 fax:03-6276-3877
E-mail:linkhoumu@future.ocn.ne.jp

九段法律事務所
弁護士 弁理士 五十嵐 康之 (平成2年卒 97回)
〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目1番7号
井門新宿御苑ビル2階
電話 03-5312-1025 FAX 03-5312-1184



鶴岡の匂い
栗田 実 (昭和42年74回卒)

匂いでふるさと鶴岡を思い出したことがある。嗅覚は脳の中での信号の伝わり方が視覚や聴覚とは違うため、思い出を喚起する強い力があるのだそうだ。それだけ原始的な感覚なのだともいう。

鶴岡の匂いというどんな場面が思い浮かぶだろうか？ 茹でたてのただちや豆、孟宗汁に納豆汁、鰯のぬか漬、ばんげや山うど、食べ物

もあつた。柔剣道場の畳の匂いもあつた。佐藤三郎先生の眼鏡と共に思い出す人もいるだろう。あるいは隣りにあつた部屋のすえた匂いか。下水道の無かつた当時はあけつ箱やどぶの匂いも街中にいつもあつた。一枚の絵に激しくふるさと鶴岡の匂いを感じた。視覚からどんな脳内経路を通つたのかは分らぬが懐かしい情景が嗅覚の記憶を刺激し、それがまた懐かしさを倍加した。気分は鶴岡、まざまざと鶴岡

の思い出にひたることになった。その時わたしが嗅いだのは鶴岡の、断じて冬の朝の匂いだ。粗朶に新聞紙で火を着け、木っ端をくべて、そこにそつと炭をおく。雪国の一日が始まる匂い。その匂いからの追憶で、建てつけが悪く窓枠から雪が吹き込む南高の木造校舎まで一気に浮かんで来た。窓の外には暗い空から雪が舞い降りるが、春が間もない気配も感じる。雪解けの匂いか。嗅覚は、なるほど思い出感だ。
ふるさとの匂いを喚起した絵画「屋根の上の雪」はオルセー美術館にある。「まんず来ばえつちや」とパリも呼ぶ。



出会い繋がり
佐藤 潔 (昭和42年74回卒)

高校時代の通学時間は徒歩で二分。あまりの近さに下駄の歯も減らさず三年間通学できた。大学時代はこれまた徒歩一分。靴底も減らさずに四年間通学した。

サラリーマンになって、ここ十年ぐらひは朝五時に起床し六時前に家を出て、帰宅は二十時前後。たまには午前様あり。土日曜には三人の孫の託児所所長の園長さん生活だ。そろそろ営業マンとしての会社

を卒業し、老後は何をやるかと思案していたある日、突然届いた手紙の差出人は鶴岡の同級生の坂田君。半分脅して「鶴翔会42回総会の実行委員にめでたく当選した。是非顔を出したまえ」とのこと。敷居が高く一度も出席したことが無い鶴翔同窓会にそろそろ参加しようかなと思つていた矢先だつた。恐る恐る実行委員会に出席する

と「あんた誰だ？」の顔ぶれ。しばらく観察し話をするうち何といふことでしょうか！ 84回卒業生の鈴木氏の会社の先輩が同じ大学の同じ研究室のM君と判明。これがかきつかけで四十年ぶりの再会となつた。
坂田くん、実行委員に選んでくれて有難う。一度も出席したことのない鶴翔同窓会が思いがけない出会いを準備してくれたことに感謝、感謝！
この様にどこでどうなるか分からない世の中。皆さんも新たな出会いを求めて、是非第42回鶴翔会総会に参加しましょう！ 元氣の出る素敵な出会いがスタートしますよ。

信頼の構築
石橋不動産 株式会社
代表取締役 石橋 政士 昭和45年(第77期)卒
〒997-0015 鶴岡市末広町13番1号
☎0120-81-5411

学校法人 井之頭学園
藤村女子中学・高等学校
校長 坂田 敬一 (昭和42年74回卒)
〒180-8505 武蔵野市吉祥寺本町 2-16-3
TEL 0422(22)1266 FAX 0422(22)7680
JR・井の頭線 吉祥寺駅下車徒歩5分

ソニー製品専門店 「電気のお困り事ご相談ください」
SONY COMMUNICATION SPACE
ソニーショップ MITA
(株)ショップ三田 加藤 恵一
〒108-0014 東京都港区芝 4-4-14
TEL 03-3451-8026 FAX 03-3769-4359 http://www.shopmita.com/

鶴岡 税理士 YAHOO!で検索
http://www.konnokaikai.net
紺野税理士事務所
山形県鶴岡市大西町11-16
税理士 紺野 修 (昭和60年卒)

榎本公認会計士事務所
税理士法人 SVC
代表社員・公認会計士 榎本 堯 (63回)
〒180-0022 武蔵野市境 5丁目7番2号102
電話 0422-52-2253 FAX 0422-56-0730
http://www.enomoto-cpa.com E-mail enomoto-555@nifty.com

株式会社 遠藤会計事務所
代表取締役所長
税理士 遠藤 研一 (76回卒)
事務所 〒997-0042 山形県鶴岡市新形町21番20号
電話 0235-22-2884(代表) FAX0235-24-3846

[7] 忘れてませんか？ 庄内弁
ちゃちゃど=さつさと→「おそくなつさげ、ちゃつちゃどえいげ」→「遅くなるから、早く行け」
ちよす=さわる→「そんなちよすな」=「それに触るな」 ちよつとぎ=ちよつと→「ちよつとぎこえ」=「ちよつと来い」

庄内

三方を山々に囲まれ西には日本海を望み、母なる川・最上川が横断する庄内。豊かな風土は、さまざまな農水産物と素晴らしい人々をはぐくんできました。

江戸時代から酒井家 14万石の庄内藩として栄え、江戸の文化、北前船がもたらした上方文化、東北の文化が混在。そして、今もその伝統文化を大事にし、庄内の素晴らしさを国内外に発信しようと頑張っている人たちがいます。

東日本大震災のあと、東北人の粘り強さや絆が注目を浴びる中、東北の未来を見すえた庄内の頑張りが私たちに勇気を与えてくれます。

豊かな農水産物!
64品目もある
在来野菜



鶴岡市は、これまで数々の著名な作家を輩出してきました。情緒あふれる街並みや豊かな自然、伝統文化が多くの人々に愛されてきました。とくに藤沢周平は、小説の舞台として鶴岡をモデルにして多くの作品を描いています。平成22年には「藤沢周平記念館」がオープンし作品の舞台を訪れる観光客が増えました。

また最近では、久木綾子の南北朝時代の出羽国庄内を舞台にした羽黒山五重塔仄間「禊の塔」が出版されました。羽黒山の五重塔の前に立ちたくなる作品です。



藤沢周平記念館…『藤沢文学』の魅力を味わう。



羽黒山五重塔…『禊の塔』



あの五間川は内川…『蝉しぐれ』



藩校致道館…『義民が駆ける』

小説の舞台

自然と文化を一緒に満喫
訪れる人が増えてます



「鶴乃湯」鶴岡市の最後の銭湯…『おくりびと』



「玉川寺」別名「花の寺」…『山桜』『隠し剣 鬼ノ爪』など多くの映画の舞台。



「鶴岡公園」日本さくら名所100選に選ばれる…『花のあと』

藤沢周平の小説の映画化をきっかけに「庄内映画村」ができ、その後、庄内を舞台に数多くの映画作品が作られました。

「庄内映画村」は、月山山麓88ヘクタールの広大なスケールのオープンセットです。漁村や山村、宿



「庄内映画村」オープンセット入口…これより先はタイムスリップした世界。『座頭市』『デンデラ』などたくさんの映画が製作される。

庄内の風景、歴史的な文化遺産が映画に乗って日本中へ、世界へと発信されていきます。

場町などのセットは、日本の原風景が味わえる場所になっています。「おくりびと」「たそがれ清兵衛」「蝉しぐれ」「山桜」「座頭市」など数々の映画が庄内を舞台に撮られています。映画を見た人たちがまた見たくなるような風景が庄内にはたくさんあります。

「まちなかキネマ」は、寂れた市街地ににぎわいを取り戻し、暮らして潤いのある街づくりを目的につくられました。映画館は絹織物工場の建物を再利用して造られ、木のぬくもりを感じさせます。

映画の他にいろいろなイベントも行われています。



「まちなかキネマ」…計437名収容の大小4つのスクリーンがあり、無料駐車場完備。

映画の町

映画で地域の
活性を!

写真提供：鶴岡市観光物産課、つるおか おうち御膳（鶴岡市農政課）、株式会社まちづくり鶴岡、社団法人鶴岡青年会議所、庄内映画村株式会社、鶴岡市立加茂水族館、衣笠博子(74回)、鈴木良清(84回)

ふるさと
特集

がんばってっぞ!

東京から
バスツアーも
あるよ!



復興を願い、赤川河川敷2キロにわたる会場で14000発の花火が打ち上げられた。

赤川の
花火大会
「希望の光」

復興に勇気を、
子どもたちに希望を、
東北に未来を!

22回目を迎えた2011年の赤川花火大会は、震災の後開催が危ぶまれましたが、「復興に勇気を、子どもたちに希望を、東北に未来を」のテーマのもと、災害支援の一環として行われることになりました。

鶴岡青年会議所は、「希望の光」プロジェクトを立ち上げ、被災地石巻市、南三陸町の子供たち350人余りを花火大会に招待しました。子どもたちの心を支援することで復興に向けて前進する力に繋がると考えたからです。
夜空いっぱい広がった色とりどりの花火が音楽とシンクロし、集まった大勢の人々に元氣と勇氣を与えてくれました。

山形県内唯一の水族館の加茂水族館は、庄内に住んでいた人ならだれもが、小さい頃一度は行ったことのある所でしょう。一時は閉館の危機に追い込まれましたが、クラゲの展示を始めてから訪れる人が増えるようになりました。さらに、オワンクラゲからGFPを取り出した下村脩先生がノーベル賞を取ったことも幸いし、約35種のクラゲを展示する世界一のクラゲの水族館になり、日本中からたくさんの方が訪れています。
加茂海岸は、クラゲの宝庫で、展示されているクラゲの多くは、水族館のスタッフが加茂海岸で採集したものです。ゆらゆらと泳ぐ姿は人々の心を癒してくれます。
2014年7月には、新しく姿を変えオープンする予定です。

世界一の
クラゲタリウム
加茂水族館

子供にも期待が、被災地を笑顔で迎えた花火大会



カブトクラゲ。



ベニクラゲ。



オワンクラゲ。



ゴールデンウィークには孟宗汁。



寒い体が芯から暖まるどんがら汁。

毎年2月に
江戸川区船堀
駅前広場で
寒鰯祭り
やってるよ!



子どもたちに大人気の笹巻き……



冬の味、ハタハタの田楽。



夏は南禅寺で涼を楽しむ。

伝統的な
料理

うめもの えっぺだの

次世代へ伝えたい在来作物と庄内の食文化を世界へ

鶴岡市では、このたぐいまれな食文化を大切に継承し、町づくりに生かすためユネスコ創造都市ネットワークの食文化部門への加盟を目指しています。
うまい食べ物と酒が同窓会でも人と人を繋ぐことでしょうか。

庄内地方の豊かな自然は、稲作をはじめとする農林水産業や、酒や漬物などの伝統産業を興し、この地域特有の食文化を築き上げてきました。「ただちや豆」「民田なす」など64種類もの在来野菜、美味い米、庄内浜でとれる新鮮な水産物などの素材をいかした料理を一年中楽しむことが出来ます。また、それは庄内を離れた者にとってこの上なく懐かしい味です。

おいしい地酒も勢揃い!





クラス会に思う

本間 菊雄
(昭和42年74回卒)

現在私は仙台在住ですが、今も毎年継続中の我が3組東京クラス会について少し紹介致します。

3組に在籍した東京エリアの同級生に呼び掛け、仕事や損得関係の全く無い、ただ青春時代の一ページを本音むき出しで過ごした仲間とひと時語り合える場があれば、ということでも毎年十月に開催しています。昨年で二十三回目となり良く続いているものと感心します。これも参加者がいるからで逆にや

もあり、開催場所を東京駅近くにごだわるのにもここにありません。

開催初期のそれなりの姿も、いつしか頭が少し涼しげになり、かつての美顔に細い線？が目立ち始めたり、出会った途端にいきなり十代に変身する早業も一興です。青春時代の仲間の絆を大事にしたいと思います。

これを読んだ同級生諸君、是非出席して下さい。そして鶴翔同窓会へも「まんず来ばえつちや」。最後に昨年の3・11東日本震災の復興への全国の皆さんの継続的な支援・ご協力を心より願います。



庄内平野・風の中

海藤由起夫
(昭和43年75回卒)

標題は、水森かおりさんの歌。彼女との出逢いは、私が北区立滝野川第五小学校の創立八〇周年記念事業案を構想する際に、種々の資料を収集する中で出逢った六年

女児の作文。原寸大の自分を見つめつつ学校生活及び八〇年の歴史を刻む学校への思いを丹念に綴ったもの。滝五小に流れる歴史の風の中に立った思い。後日、演歌歌手・水森かおりさんの作品と知った。記念行事の協力を依頼し快諾。

作文を通して思い描いた少女の姿と重なり合う人物像であり、私を感じた風の中の人であった。

歌の詞には目をつぶりつつも、心に残る題名だった。それは、私の中に、故郷庄内・鶴岡から吹く風を感じる部分があるとの意識が芽生え膨らみ、一つの部屋を形成するに至っていたからだ。

高校の現代国語の教科書で出逢った「清光館哀史」を契機に私の内なる風の部屋の住人となった柳

田国男氏も風の中の人。その民俗学は、平々凡々と繰り返される人々の日常が数百年、数千年かけて積み重ねてきたものに依拠するもの。歴史と文化の紡ぎ。「雪国の春」

は、従来の中央の行政都市を中心とした季節感から離れ、地方毎の季節感を標榜したもの。その延長にあるものは、地方文化を中核とするものであり、地方からの風を期するものと推察。この風の流れこそ、閉塞感に満ちた我が国を、真の豊かさへと誘うものとの思いが募る。庄内・鶴岡からの風の中に我が身を置く幸せを感じ、私も故郷へ微風なりとも届けたいと願う日々である。



鶴岡工業株式会社

代表取締役 倉田 正

大森本社 〒143-0013 東京都品川区南大井3-16-3 オフィスベルメイト4F
TEL (03) 5767-6233 FAX (03) 5767-6234
工場 〒143-0003 東京都大田区京浜島2-16-7
E-mail info@tsuruokakogyo.com URL http://www.tsuruokakogyo.com

鋼板、ステンレス、総合加工 (切断、曲げ、切削、溶接)

株式会社 庄内シャーリング

代表取締役 池田 恭平 (29年卒61回)

■本社・本社工場 〒999-7611 鶴岡市上藤島字上川原80番地
TEL 0235-64-3600 FAX 0235-64-3700

技術に定年なし、“生涯現役”の元気集団 立ち上がれ 定年退職者!!



株式会社 フレッシュシックスオー

取締役社長 齋藤 輝峰 (昭40年卒)

〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町3-9-13 TVPビル3F ☎045-440-0741
鹿島事業所 ☎0299-96-6716 筑波事業所 ☎029-887-3148



株式会社 ホンマ電機

代表取締役 本間 俊三

〒228-0802 相模原市南区上鶴間 1-12-1
TEL:042-746-1616(代) ホンマ電機 検索
FAX:042-747-3463



KEC

〔韓国半導体メーカー〕

ケーイーシージャパン株式会社

代表取締役社長 小野寺 慎 (昭和49年卒)

〒141-0022 東京都品川区東五反田5-25-18 KECビル
TEL:03-5475-2691 FAX:03-3449-4109
HP: http://www.kecj.co.jp

食品機械潤滑剤 (NSF-H1) カシーダ 2 輪車専用オイル シェル アドバンス

株式会社 レッドアンドイエロー

代表取締役社長 井上 茂 (42卒 74回生)

〒135-8074 東京都港区台場2丁目3番2号
TEL:03-5531-5580 FAX:03-5531-2483
URL http://www.rednyellow.co.jp

忘れてませんか?
庄内 弁

つぼける=積み上げる→「そのへんさ、つぼけておくな」=「その辺に、積み上げておくんじやない」
つらつけね=ずうずうしい→「あのひとだば、つらつけねもの」=「あの人はずうずうしいよね」



鶴翔同窓会に集いし諸先輩の皆様。私はインターネット上でも集まろうとは申し上げておりません。積み重ねてきた膨大な経験を共有

今やインターネット上ではミクシイやフェイスブックなどのソーシャルネットワークサービス(SNS)が大流行。全く見ず知らずの人達が、共通の興味や趣味をつけてに新たな仲間を作り、さらにその仲間を起点にして新たな輪を拡げています。

化するには、やはり総会の場に勝る場所はありません。我々後輩は先輩方の多くの貴重な経験を拝聴し、仕事や私生活を充実させる参考にさせていただきます。そして、1960年代以降生まれのデジタル世代の皆さん！せっかくの休日は自分のため、子供のため、家族のために使いたいですよね。私もそうでした。でも今やわれわれは毎日のように集える方法を知っているし、遠く離れて暮

らしていても電話をかけるよりも手軽に情報交換できる術を知っています。SNSを活用し、東京鶴翔同窓会のもう一つのスタイルに向けての第一歩を我々の世代で踏み出してみませんか？そして毎年約300人が集う東京鶴翔同窓会。庄内のおいしい食べ物とお酒を味わって、睡かけ合いながらの楽しいお喋り。ここには更に多様な膨大な情報の宝庫です。限られた文字数とキーボードからではこのひと時を表現し難く、まずは一度出席されることをお勧めいたします。例えば、SNSでお待ちしております。



同窓会の新たな拡がりに向けて 鈴木 良清 (昭和52年84回卒)

健康長寿のためには『適度な運動』と『生きがい』が大切です。運動は、苦しくなくて怪我をしない程度のものが良いとされます。

そこで、庄内のことを考えてみました。年寄りばかりと嘆くこと無かれ。歩いたり喋ったり、煩わし

いと感じた生活は健康長寿にちよつとよさそうです。それに人口動態をみると庄内は既に高齢化が完成し、今の状態が続きます。それに対して首都圏は、今後猛烈な高齢化がきます。老人福祉施設は間に合うのでしょうか。定年後にすることはあるか？ そんな今「まんず来ばえちや 元気でっぞ!!」という声が嬉しく感じます。気がつけば私も定年まで何年と数える歳です。首都圏に暮らす身ですが、たまの帰省や同窓会が楽しいうちは、健康長寿の資格有りかなと、庄内と旧友に感謝しております。



庄内人の楽しみ — まずは動く、ゆるく繋がる — 三浦 正巳 (昭和52年84回卒)

山形県内で三十七歳まで暮らした後に首都圏に出てきて十五年が過ぎました。その間、医師として研究者として老年学に携わってききました。自分では「運動と行動の神経生理学」を標榜していますが、大きな分類では「健康長寿」のための医学になります。

一方、生きがいは人それぞれと思われるかもしれませんが。一般には生きる喜び、価値、目的を意味します。実はそうした生きがいを研究する社会科学があり、それによれば『社会的交流(人とのふれ合い)と生活目標(毎朝、今日はこれをやろうと思う)』が生きがいの基にな

つているといえます。そこで、庄内のことを考えてみました。年寄りばかりと嘆くこと無かれ。歩いたり喋ったり、煩わし

株式会社 スタジオ・オクト OCT 代表取締役 野間 耕治 (昭和46年) 東京都渋谷区代々木3-2-7-402 TEL 03-5351-9201 FAX 03-5351-9205 E-mail oct@st-oct.com 今秋 大山の300坪にきまぐれなカフェ OPEN!!

TURUGI 地域未来創造企業 鶴岡建設 代表取締役社長 本間敏英 (69回卒) 本社 ■山形県鶴岡市泉町5番41号 TEL.0235-22-4511(代) FAX.0235-24-3240

— 必要な存在 — 鋼材の加工販売 株式会社 ミウラ トレーディング 代表取締役 三浦 幹夫 (74回生・42年卒) 〒446-0005 愛知県安城市頭茶屋町南裏 68 TEL:0566-96-1855 FAX:0566-96-1861 E-mail m.miura@miuratrading.co.jp

UH 有限会社 ウエハラ・ホーム 代表取締役 本間 日出輝 (昭和44年卒) 〒290-0007 千葉県市原市菊間 574 番地 TEL 0436-42-3252 FAX 0436-42-3256

SIGN EVENT SUAL COMS 株式会社 コムズ 東京都中央区京橋3-12-1 エコー京橋ビル Phone 03-3562-5201 Fax 03-3562-5207 itagaki@coms.co.jp (66回卒)

高精度・高品質への挑戦 株式会社 サンテック -精密機械加工品の受託生産- 指田重治郎 (昭42卒 74回生) 〒997-0011 山形県鶴岡市宝田3丁目6-1 [鶴岡東工業団地] TEL 0235-23-0377 FAX 0235-23-0460

[11] 忘れてませんか? 庄内弁 でんざり=すこしも→「そげだとは、でんざりおもわねけ」=「そんなだとは、ちつとも思わなかつた」 とけちやま=反対→「まだ、くづどご、とけちやまはいで」=「また、靴を反対に履いて」



想いの拡がり

加藤 光保 (昭和53年85回卒)

震災の際の日本人の行動に対する世界からの賞讃は、皆さんも耳にされたと思います。私も何度か外国人から直接言われる機会がありました。その度に、「規律や組織を重んじ、他者を想い遣る日本人の気質は、地震や台風などの災害が多い日本の風土が育ててきたのだと思います。今回の震災で私達はまた成長できるでしょう。日本人であることを私は誇らしく思います」と答えてきました。

古い研究棟の7階にある私の研究室も大きな被害がありました。1週間以内に全研究室を復旧するという組織長の強いリーダーシップと被害の少なかった低層階大学院生の高層階への動員や教職員のすばやい連携などにより驚くほどの回復力を示しました。被害が大きかったのに加藤が全く平気そうだったので安心した後で言われましたが、東北大学医学部の出身である私は、毎晩、グループメール

に投稿される同級生達の現状報告に驚きと賞讃の想いで一杯でしたので、学内では被害が大きくても、同期の仲間の中では一番楽な場所と働いていると感じていました。それから、平気なのは当たり前です。私達日本人に残された次の課題は、この組織を大切に私達の想いの対象をどこまで拡げることができるかという点にあると考えます。家族を想い、友を想い、職場の仲間を想う気持ちで、地球規模課題に立ち向かうことができれば、日本人はまさに成熟した民族として世界から真の賞讃を受けることになると思います。



鶴岡の元気は日本の元気

田中 宏 (昭和63年95回卒)

私は二十代を東京で過ごし、今は両親と妻子と共に鶴岡の実家で暮らしています。月に数回は首都圏へ出かけ、鶴岡の素晴らしさを都会に広め、都会の先進性を鶴岡のまちづくりに取り入れようと活動しております。

合う時間も楽しみます。また、首都圏から鶴岡への《うたう旅》として、お雛めぐりツアー、里の秋ツアーに続き、今年2月に「雪の降るまちを」ツアーを企画実施。積雪3mを超える大鳥(朝日地域)では、囲炉裏の温もりを感じながら歌いました。参加者は、雪の美しさ、大鳥住民の明るく逞しい生き様に感動した様子でした。季節感が鮮やかで、森・里・海を併せ持つ鶴岡は、四季折々の特

東京区で月1回開催の《庄内うたう会》には鶴岡の先輩も大勢ご参加。あらゆるジャンルの歌を僕のピアノののせて全員で歌う他、鶴岡に関する話題を庄内弁で語り

産物に恵まれています。鶴岡の産直や物産展が、友好都市の江戸川区、墨田区だけでなく、神楽坂の毘沙門天や藤沢市など、首都圏各地で年数十回も開催されています。鶴引南小の6年生は自分達で育てたリンゴを、横浜市の神奈川県区民祭りで直売しているとのこと。

震災の影響で鶴岡へ避難している数百名の方々のためにも、ますます元気で魅力あふれる鶴岡に、更に、東京鶴岡同窓会をはじめ全国の鶴岡ゆかりの方々に元気が伝播し、やがて日本中が元気になることを願っています!!!

TAKAHATA WINERY

JR高畠駅より、徒歩10分 / 無料試飲 / 見学自由

高畠ワイン株式会社

山形県東置賜郡高畠町標野目2700-1 TEL. 0238(57)4800

至福の極上甘口ワイン「まほろばの貴婦人」

故郷のニュースは庄内唯一の日刊郷土紙「**荘内日報**」で

『荘内日報』を郵送いたします! カラーになってさらに見やすく

◆帯封(毎日郵送) 購読料1か月2,000円 + 郵送料1,040円

◆メール便(1週間分まとめて送付) 購読料1か月2,000円 + 送料1回80円(1か月320~400円)

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町8-29 TEL.0235-22-1480 FAX.0235-22-2633 <http://www.shonai-nippo.co.jp/>

日本一のブルーベリー園羽黒に誕生

月山高原 **鈴木ブルーベリー農園**

月山の恵みをいっぱいいただき9千本ものブルーベリー達が元気に育んでおります。是非一度御越し下さいませ。

月山高原 **鈴木農園** ブルーベリー農園

羽黒町上野新田字上台80 TEL&FAX0235-62-4042 www.suzukihaguro.com

出羽庄内地域文化情報誌…[クレードル]

Cradle あなたの庄内便

隔月3万部発行 サポーター募集中! 庄内クレードル 検索

(株)出羽庄内地域デザイン(フリーアクセス電話:0800-800-0806)

庄内大地の自然を食す羽黒綿羊・山伏豚

クックミート マルヤマ

山形県鶴岡市みどり町20-35 TEL:0235-23-5246 FAX:0235-25-7724 HP <http://www.993-10.com>

祝 第42回東京鶴翔同窓会

出版・編集・DTP・校閲校正

株式会社アドリブ

代表取締役 伊藤 豊 (77回)

〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目11番9号 TEL 03-3511-6055 (代) FAX 03-3511-6056 URL: www.ad-lib.co.jp E-mail: ito@ad-lib.co.jp



懐かしい顔、顔、顔!!

大盛況だった
昨年、第41回の模様です。

—第41回—
総会のテーマ

「心の響き、ふるさとのしらべ」

—語ろう庄内を、青春を—



門脇千子さん (vo)、鹿野信一さん (g)
矢田佳延さん (b) のジャズ&ポップス



ロビーでは高山文夫先生の写真展



三井照代先生の『校歌舞』



小鉄さんのバントマイム



また
集まろう!!

ここに来れば
のんでよし。食べてよし。
しょうれんさんも、はじめてさんも
ようきに楽しく、美味しい時間

隠れ家のような我が家。
山形・庄内 季節創作料理 **このじょ**

千代田区内神田 3-5-5 大同ビル1階 TEL&FAX: 03-3254-7358

つるおか菓子処
木村屋

●本店 / 〒997-0028 山形県鶴岡市山王町9-25
TEL 0235-22-4530(代) FAX 0235-22-4538
●フリーダイヤル 0120-368222
(ホームページ) <http://www.Kimuraya.co.jp>

みんなで創る山形イタリアン
YAMAGATA San-Dan-Delo
ヤマガタ サンダンデロ

〒104-0001 東京都中央区銀座1-5-10
ギンザファーストファイブビル2F
山形県アンテナショップ「おいしい山形プラザ」2F
tel.03-5250-1755 fax.03-5250-1756

板蕎麦 炭火焼料理
大松屋

大松屋本店 TEL. 03 (3571) 7053
大松屋蔵店 TEL. 03 (3574) 4200
酒田生石 大松家 TEL. 0234 (94) 2617

[13] 忘れてませんか? **庄内弁** ほでね=覚えがない→「さげのむど、すぐほでねくなる」=「酒を飲むと、すぐに記憶がなくなる」
めじよけね=かわいそう→「めじよけねぐでの、おらだばなえてました」=「かわいそうで、わたし泣いてしまったわ」

東京鶴翔同窓会・幹事名簿

平成24年4月1日

会長	菅 徹 (37年69回)	佐藤 和敏 (37年69回)
副会長	梅津 準士 (45年77回)	尾形 文子 (38年70回)
顧問	杉山 恵子 (45年77回)	俊郎 (38年70回)
	大泉 正 (53年85回)	相馬 省記 (39年71回)
	田中 浩 (9年42回)	佐藤 祐一 (39年71回)
	中村 信雄 (18年51回)	山田 悟 (39年71回)
	佐藤 成生 (27年59回)	齋藤 豊三 (40年72回)
	渡部 洋 (36年68回)	小鷹 光雄 (40年72回)
	太田 良弘 (38年70回)	兼子 久 (40年72回)
会計監事	村田 敏 (45年77回)	高嶋 勝平 (41年73回)
	秋場 守 (53年85回)	平山 静夫 (41年73回)
事務局長	小林 啓二 (38年70回)	坂田 敬一 (42年74回)
事務局次長	長江 和子 (38年70回)	青島 時子 (42年74回)
年度幹事	渡會 春雄 (15年48回)	岡部 次樹 (43年75回)
	斎藤 弘義 (17年50回)	菅野 京子 (43年75回)
	青柳 恵一 (18年51回)	梅津 千里 (43年75回)
	菅原 隆輔 (19年52回)	星野 茂 (44年76回)
	成田 辰美 (20年53回)	伊藤 豊 (45年77回)
	佐藤 良三 (21年54回)	小林 桂子 (46年78回)
	渡部 敏雄 (21年54回)	野間 耕治 (46年78回)
	丸谷 錦吾 (25年57回)	川畑 一郎 (47年79回)
	窪田 騰 (26年58回)	井ノ口 明子 (48年80回)
	佐藤 成生 (27年59回)	渡部 幹 (48年80回)
	茂木 勲 (28年60回)	王 金城 (49年81回)
	早坂 勉 (28年60回)	石川 康博 (49年81回)
	大澤 弘之 (29年61回)	鈴木 亮 (49年81回)
	相馬 和彦 (29年61回)	林 みき (50年82回)
	奥田 文夫 (30年62回)	今野 りつ (50年82回)
	高橋 徹 (30年62回)	江部 信夫 (51年83回)
	鎌田 喜子 (31年63回)	仁平 則行 (53年85回)
	平田 宏 (31年63回)	河野 晃 (53年85回)
	渡部 賢一 (32年64回)	小池 悟 (54年86回)
	加藤 有紘 (33年65回)	石川 透 (55年87回)
	大川 政紀 (34年66回)	小池 一史 (55年87回)
	板垣 正明 (34年66回)	遠藤 高志 (56年88回)
	安野 正紀 (34年66回)	山村 文雄 (56年88回)
	加賀山 忠男 (35年67回)	関口 太郎 (57年89回)
	坂本 紀夫 (35年67回)	百瀬 義徳 (57年89回)
	斉藤 敬治 (35年67回)	岡本 あい (57年89回)
	本間 敬士 (36年68回)	渡部 英一 (57年89回)
	佐藤清四郎 (36年68回)	大高和加子 (58年90回)
	櫻井 孝子 (36年定32回)	長沢 重喜 (58年90回)
	工藤 雅子 (37年69回)	村山 聡 (H1年96回)

東京鶴翔同窓会 平成23年度収支決算書

(平成23年1月1日～12月31日)

(1) 一般会計 (単位:円)			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	304,459	総会費支出	2,863,073
総会費収入	1,968,000	事務費	1,048,501
年会費収入	1,195,000	(印刷費)	238,157
広告費収入	1,436,000	(通信運搬費)	652,053
雑収入等	318,048	(旅費交通費)	0
(祝い金)	140,000	(振込料金・手数料)	65,890
(会員等寄付金)	76,000	(雑費)	92,401
(役員会臨時会費等)	78,000	会議費	480,828
(2次会残金)	24,000	広告費	31,000
(預金利息)	48	ホームページ管理費	50,000
震災義援金	141,715	その他祝い金	110,000
特別会計繰入収入	0	震災義援金	141,715
		特別会計繰入支出	0
		次期繰越金	638,105
合計	5,363,222	合計	5,363,222

一般会計 次期繰越金内訳	
現金	43,279
郵便振替 (口座残高)	92,482
普通預金・荘内銀行	113,629
普通預金・三井住友銀行	8,715
仮払金 (次年度実行委員会前渡金)	380,000
合計	638,105

(2) 特別会計 (単位:円)			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	2,269,845	一般会計繰入支出	0
預金利息	785	次期繰越金	2,270,630
		(普通預金)	0
一般会計繰入	0	(定期預金・荘内銀行)	2,269,845
		(預金利息)	785
合計	2,270,630	合計	2,270,630

本会の収支決算について、厳正に監査を実施したところ、その執行は適正であると認められます。

平成24年4月3日 会計監事 村田 敏 (印) 秋場 守 (印)

(年会費(維持会費)納入は郵便局の機械振込(ATM)で!! 手数料は40円違います)

～ 楽しいこといっぱい～ 庄内イイナ会

S17年度庄内生まれ首都圏在住者の集い
年度にかかわらず、入会大歓迎です

事務局：本間敬士 TEL/FAX 0297 (73) 0364



素材屋のこだわり料理
◆炭火串焼き
◆手付け串カツ
◆手作り惣菜
素材屋 大手町ビル店
〒103-0025
東京都大手町一丁目6番1号
TEL 03-5224-3201
FAX 03-5224-3202

渋谷区道玄坂1-6-5 TEL 3464-8989

山形庄内の味を!!
〒101-0021 東京都港区新橋4-15-1
岩崎産業ビル3F TEL 03-3459-6363
(JR新橋駅 烏森出口 徒歩3分)

東京尾浦会

尾浦とは400年前、庄内に酒井氏が入部する以前に君臨していた武藤氏の築いた「尾浦城」にちなんだ大山の旧称です。

会長 加藤 真 (昭12年卒)
事務局 〒155-0031 東京都世田谷区北沢5-15-12 加藤 有絃 方
TEL&FAX 03 (3468) 0785

焼鳥好きな人は是非一度ご来店を!

〒105-0004 東京都港区新橋3-13-8
TEL・FAX: 03 (3432) 2400

忘れてませんか?
庄内弁

もっけ=ありがとう→「あやや、こげしてもらて、もっけだのー」=「あらー、こんなにいただいて、恐縮です」
やじゃがね=どうしようもない→「こげだごんだば、やじゃがねの」=「こんなことになったんじゃ、もうだめだね」



同好会 会員募集中!

『鶴友会ゴルフ』

鶴翔同窓会会員がゴルフを通じて親睦を深めるための会。現在、会員数は75名(管徹東京鶴翔同窓会会長が鶴友会会長を兼務、第6代)で、年間2回のペースでの開催。今年の4月で78回39年の伝統。「スコアーよりも楽しくやろう!」という雰囲気、会長と事務局がBBを争うような会。春は鶴翔単独、秋は城畔会(鶴工OB会)と合同(別称=鶴栄会、鶴岡関係者なら誰でも参加可能)。皆で楽しいゴルフを!新メンバー大歓迎!!【問】090-3816-3367 事務局・大泉まで。



『鶴翔塾』

1997年に創設。生涯学習と相互交流を目的とし、多士済々の講師をお迎えしてきた。会報『South Wing 南翔』では、講演の様相を紹介する他、会員の自由投稿の場を設けている。講演会で心を豊かにし、懇親会の『孟宗汁』でお腹を満たし、もちろん、お酒はふる里のものをご用意。次回の第21回は、5月26日ヴァイオリニスト中村ゆかりさんをお迎えして『終わりのない旅—私のヴァイオリン人生—』と題して駒込学生会館で開催予定です。皆様!奮ってご参加ください!!【問】090-3816-3367 事務局・大泉まで。



『庄内うたう会』

東京鶴翔同窓会で歌ったことが誕生のきっかけとなったこの会、今年で13年目を迎えます。当初7人だった会員も、今は30人を超えています。男女、年齢問わず、上手・下手、もちろん経験も問わず。必要なのは、歌を楽しむ心と月2千円の会費です。月1回の定例会の他に年1回の合宿を行い、メンバーの親睦をはかっています。いずれの回も、会員みんなのリクエスト曲を、素敵なおピアノ伴奏で歌います。童謡、唱歌、シャンソン、歌謡曲…ジャンルは多岐に渡っています。指導者は、ふるさとの四季折々の香りを携えて、鶴岡から飛んで来てくださる若き田中宏先生(95回卒)です。一人ひとり十分声を出せるように、体ほぐしから始まります。言葉と、曲想を大切に、また、曲にまつわるエピソードなども紹介しながら、丁寧に楽しく教えてください。身も心もホットと温まり、最高に元気の出る会です。是非お出かけください。【問】03-3488-6435 宮本まで。



第42回 東京鶴翔同窓会 実行委員会

実行委員長	坂田 敬一(42年74回)
副実行委員長	榎本 克弘(32年64回)
〃	千田 優子(42年74回)
〃	鈴木 良清(52年84回)
会報部会長	衣笠 博子(42年74回)
部会長	佐藤 潔(42年74回)
(兼)鈴木 良清(52年84回)	
広告部会長	井上 茂(42年74回)
部会長	岡部 博(42年74回)
坂本 誠(42年74回)	
会場部会長	佐藤 憲(42年74回)
部会長	青島 時子(42年74回)
秋野 裕(42年74回)	
奥山 開八(42年74回)	
木戸美記子(42年74回)	
斎藤 新一(42年74回)	
佐藤 直嗣(42年74回)	
白幡 孝(42年74回)	
杉浦 幸夫(42年74回)	
事務局	
事務局長	真田 充(42年74回)
事務局次長	佐藤 秀子(42年74回)
(兼)会計	

編集 後記

鶴岡を離れ45年もの月日がたとうとしているのに、ふるさとへの思いは年々増えています。両親が亡くなり鶴岡へ帰る機会が少なくなりましたが、6年前から私設の庄内ツアーを実行しています。知人、友人を連れ2泊3日の庄内ツアーです。美しい自然、伝統ある文化、おいしいものいっぱい、庄内にみな満足してくれました。わたしは、庄内の良さを紹介するはずが、行くと共に新たな庄内の良さを発見することになっていきます。

そんなときに東京鶴翔同窓会実行委員の声がかかり、会報担当になりました。がんばっている庄内の特集を組むことになり、四苦八苦しましたが、庄内の良さをまたまた発見することができました。特集を組むにあたり、加茂水族館・藤沢周平記念館・庄内映画村・まちなかキネマ・鶴岡青年会議所・鶴岡市東京事務所など多くの皆様から写真や資料を提供して頂き感謝しています。スペースの関係で載せられないものも出てしまい申し訳なく思っています。それらの写真や資料を探すにあたっては鶴翔同窓会の人脈がモノを言い鶴岡在住のTさんをはじめ多くの人にお世話になりました。このつながりがパワーを生むのだなと実感しました。6月16日(土)みんなと会えんのが楽しみだの。んだば、その時の(会報部長・衣笠博子)

『第42回東京鶴翔同窓会総会
おめでとうございます
祝 われら今年卒業50周年、
秋には皆で集まろう』

昭和37年卒69回 有志一同

昭和42年卒(74回)のみんな!
**まんず来ばえっちゃ
元気であそぶ!!**

サンケイプラザ 74回有志一同

第42回 東京鶴翔同窓会総会おめでとうございます

山形県立鶴岡工業高等学校
城畔同窓会関東総支部

支部長 小林 武

事務局
〒260-0851 千葉市中央区矢作町377-2 TEL & FAX 043-227-0745

鶴翔塾 会報『South Wing 南翔』

第21回 記念講演 開催!!

日時: 5月26日(土) 13:30~
講師: ヴァイオリニスト中村ゆかりさん
場所: 駒込学生会館
塾頭・篠崎 実(85回) 事務局・大泉 正(85回)
お問い合わせ/090-3816-3367(大泉まで)
※鶴翔塾は、皆様のご寄付により運営されています。

[15] 忘れてませんか? 庄内弁 やばち=つめたくて、きたない→「雨ふらいでよ、やばちごと」=「雨に降られてね、冷たくて、汚くて、気持ち悪いよ」
※以上、なつかしの庄内弁は太田良弘さん(70回)のホームページ庄内語辞典より。http://www.myshonai.com/index.html



写真下／花火を見上げるのは『希望の光プロジェクト』で招かれた被災地の子供たち

—第42回 東京鶴翔同窓会—
イベントのご案内

魂に
元気を!
法螺貝の音と
ともに!

「出羽三山」を思い出し、みんなで震災からの復興、東北の再生、同窓生の健康と弥栄を祈ろう!



山伏・大泉成範(85回卒)



心に
元気を!
真島俊夫とその仲間たちによる
ジャズ&ポップス。
みんなも一緒に歌おう!

74回卒の真島さんが仲間とともに元気の出る音楽を演奏してくれます。真島さんたちの演奏をバックにみんなも歌おう! 「庄内うたう会」の皆さんも一緒に会場を盛り上げます。

●真島俊夫/作曲・編曲家 フランス「クー・ド・ヴァン国際交響吹奏楽作曲コンクール」にて『鳳凰が舞う』でグランプリを受賞。その他作品多数。

◀一番右が真島さん。6月3日午前9時からのテレビ朝日「題名のない音楽会」で『地球一美しき惑星』という曲が演奏されます。皆さん是非ご覧ください。

眼に
元気を!

映像でつづる庄内!
懐かしの庄内、新しい庄内、特集にあるように頑張っている庄内の様子をご紹介します。会場の300インチの画面は、われわれを電車に乗らずに庄内へ連れて行ってくださるでしょう。



体に
元気を!
懐かしいふるさとの味、
おいしい物をたくさん
食べて元気になろう。



ただちや豆や笹まきなど、ふるさとの味やおいしいお酒にきつと会話が弾むはずですよ。

—JA鶴岡の販売コーナー開設予定

ホームページをリニューアル!!
使いやすく、親しみやすく内容を一新しました。
<http://www.tokyokakushou.com>

第41回 東京鶴翔同窓会総会 出席者名簿

平成23年6月25日(土) 海運クラブ

ご来賓

鶴岡南高等学校 校長 田中 芳昭 様	如松同窓会東京支部 副支部長 田中まり子 様	城畔同窓会埼玉北部支部 支部長 柳澤 英雄 様	紫紺会東京同窓会 会長 佐藤 修三 様
鶴翔同窓会 会長 石黒 慶一 様	如松同窓会東京支部 常任幹事 佐野 英 様	黎明同窓会関東支部 支部長 齋藤 仁幸 様	紫紺会東京同窓会 事務局長 齋藤 常夫 様
鶴岡市長代理 東京事務所長 阿部 真一 様	城畔同窓会関東総支部 支部長 小林 武 様	黎明同窓会関東支部 幹事 山田南海子 様	首都圏鶴岡会 副会長 菅原 勝子 様
	城畔同窓会関東総支部 副幹事長 松本 健吾 様		

ご招待

株式会社 ホンマ電機 本間 俊三 様	榎本公認会計士事務所 榎本 堯 様	株式会社フレッシュシックスオー 齋藤 輝峰 様	香取神社 小林 桂子 様	竹の露合資会社 相沢 政男 様
渡部工務店 渡部 敬一 様	株式会社コムズ 板垣 正明 様	鶴川胃腸科 田畑伊都子 様	荘内日報社 橋本 政之 様	むかえだ歯科クリニック 迎田 洋 様
香取物産株式会社 上野 識 様	鶴岡自動車学校 齋藤 征士 様	株式会社アドリブ 伊藤 豊 様	メットライフアリコ 大泉 正 様	
山中税務会計事務所 山中 昊吉 様	寒河江法律事務所 寒河江孝允 様	村田敏法律事務所 村田 敏 様	鶴翔塾 塾頭 篠崎 実 様	
		写真家 元鶴岡南高等学校教諭 高山 文夫 様	歌唱エンターテナー 門脇 千子 様	ベーシスト 矢田 佳延 様
		舞踏家 元鶴岡南高等学校教諭 三井 照代 様	ギタリスト 鹿野 信一 様	SOUKI パントマイマー 小鉄 (芸名) 様

一般参加者

昭和15年卒(48回) 宮崎 富哉 渡会 春雄	昭和18年卒(51回) 青柳 恵一 渡部 士郎	昭和19年卒(52回) 上野 識 土岐 良次 野澤 秀二 吉澤 四郎	昭和20年卒(53回) 五十嵐文夫 遠藤 一二 尾形 昌夫 寒河江辰巳 皆川 健行	昭和21年卒(54回) 佐藤 良三	昭和24年卒(56回) 菊池 安行 柴田 卓爾	昭和25年卒(57回) 鈴木 雄三 丸谷 錦吾	昭和26年卒(58回) 窪田 勝 四田 誠 本間 章介 増田 幸子	昭和27年卒(59回) 池田 輝之 石井 忍 海瀬 久靖 桑原 貴次 佐藤 成生	昭和28年卒(60回) 小杉 信	昭和29年卒(61回) 大澤 弘之 菊地 晴 権藤 泰浩 坂 寛 笹原 謹二 中村	山内 敬一 山中 昊吉 飯塚 進 五十嵐隆二 大川 重一 工藤 司朗 佐藤 玲子 奥田 文夫 板垣 善博 梅木 勇 榎本 堯 大滝 恒雄 岡田 恒祐 鎌田 喜子 郷守 幸三 重山 貞夫 諏訪百美子 諏訪 浩 富樫 稔 外池 連子 中山 千史 平田 宏 本間 克彦 宮本 慶子 阿部 文治 小松原隆二 正幸 佐藤 安行 高田 正雄 平田 惇 本間 義信 八向 勉 渡部 明 板垣 正明 梅木 実 大川 政紀 齋藤 巖 佐藤 誠 中嶋 茂 三井 照代	安野 正紀 昭和35年卒(67回) 荒井 尚重 大沼 順耳 齋藤 敬治 昭和36年卒(68回) 佐藤 幹生 大川 諭 太田 久 冠木 敦子 今岡 洋一 櫻井 孝子 佐藤清四郎 佐藤 松枝 荘司 保治 陶山 宏 本多 悟 本間 敬士 渡部 洋 昭和37年卒(69回) 青木 祐二 安倍 良男 犬塚 吉士 岡田 睦 工藤 雅子 小宮山直士 齋藤 英士 齋藤耕一郎 齋藤 征士 佐藤 和敏 齋藤 志郎 佐藤 征洋 七森 繁満 菅井 誠一 菅 徹 高橋トヨセ 武田 二郎 林 広弥 真嶋 俊平 松島 邦 三浦 勝 森田 良治 昭和38年卒(70回) 五十嵐戻夫 太田 良弘	尾形 文子 小林 啓二 齋藤 淑人 寒河江孝允 佐藤 高志 志賀 嘉美 庄司 誠 菅原 司 地主 忠夫 長江 和子 中西 一角 芳賀 俊郎 福原 正和 細野 美保 百瀬恵美子 昭和39年卒(71回) 阿部 良一 五十嵐 功 五十嵐耕三 五十嵐泰子 上林 正己 齋藤 継彦 佐藤 祐一 菅原 克巳 相馬 省記 犬塚 恒士 大沼 梯三 小鷹 光雄 齋藤 輝峰 齋藤 豊三 伊達由美子 成田 仙一 半澤 健雄 三浦 信次 昭和40年卒(72回) 大塚 恒士 大沼 梯三 小鷹 光雄 齋藤 輝峰 齋藤 豊三 伊達由美子 成田 仙一 半澤 健雄 三浦 信次 昭和41年卒(73回) 赤松栄一郎 阿部 博行 荒田 盈一 五十嵐 丕 伊藤恵美子 梅宮 正暉 小野 俊一 小野寺光弥 門野 陽	窪井かよ子 栗本 浩 小杉 善宏 齋藤 真一 齋藤 弥市 笹原 研 巖 智 佐藤 智 末澤 章子 関根 勉 高嶋 勝平 高田 京子 高橋 正良 立川由紀子 田中 晶子 田畑伊都子 阿部 利彦 土井 静枝 富樫 繁明 戸田 幸一 永井 憲雄 中川 節子 中村 正彦 成澤 正幸 二宮 公子 橋本 暁 平山 静夫 廣木由美子 古野 章三 丸岡 道子 丸山 治 嶺田新太郎 吉川 治雄 吉田 隆一 渡辺 紘規 昭和42年卒(74回) 青島 時子 五十嵐 博 木戸美記子 坂田 敬一 千田 優子 中山 秀 昭和43年卒(75回) 五十嵐清助 石黒 義昭	梅津 千里 坂本 妙子 佐藤 善一 佐藤 博 新野由紀子 服部 文雄 渡部 智己 昭和45年卒(77回) 伊藤 豊 巧 準士 梅津 英喜 加藤 信一 鹿野 晃 清原 千保 今野 佐藤久仁子 佐藤 利昭 菅原 清彦 菅原 誠二 菅原 等 杉山 恵子 坪井 眞理 植田 順二 三浦 一郎 三浦 健 村田 敏 昭和46年卒(78回) 奥村 智子 小林 桂子 小林 好雄 丹下 義英 昭和47年卒(79回) 荒田 透 昭和48年卒(80回) 坂田 俊次 昭和49年卒(81回) 登坂 恵理 昭和50年卒(82回) 今野 りつ 菅原 政之 橋本 等 林 みき 渡部 尚登 昭和51年卒(83回) 江部 信夫	奥山 宏子 門脇 千子 佐藤 雄喜 白崎 こう 田辺 礼士 富塚 郁夫 庸 春信 昭和52年卒(84回) 小林 欽哉 白崎 良清 和田 季理 昭和53年卒(85回) 秋葉 守 阿部 巨 伊藤 正夫 大泉 秀 篠崎 実 中込真知子 仁平 則行 昭和55年卒(87回) 相沢 政男 石川 透 昭和56年卒(88回) 小池 宏忠 昭和57年卒(89回) 岡本 あい 関口 太郎 渡部 英一 昭和60年卒(92回) 小野寺葉子 昭和61年卒(93回) 齋藤 匠 昭和63年卒(95回) 迎田 洋 平成2年卒(97回) 成田 宏紀 ……以上267名
-------------------------------	-------------------------------	--	--	----------------------	-------------------------------	-------------------------------	---	---	---------------------	---	--	--	---	--	---	---

23年度 年会費納入者名簿(卒業年次別)

～もともとと広げよう! 故郷と母校の絆～

昭10年	鈴木 保三 川村 德男 14年 佐藤 重俊 高木 正雄 15年 渡会 春雄 宮崎 幸哉 17年 桑島 栄輔 斎藤 弘義 菅原 藤夫 18年 丸谷 才一 渡部 士郎 青柳 恵一 19年 上野 識 吉澤 四郎 佐藤 昭一 渡部 久喜 櫻井 清 菅原 隆輔 佐藤 隆 土岐 良次 野澤 秀二 20年 尾形 昌夫 皆川 健行 富樫 義雄 遠藤 一二 寒江 辰巳 佐藤 久治 五十嵐 文夫 五十嵐 藤一 深野 耕作 21年 富樫 泰教 佐藤 良三 菅原 伸三 齋藤 伸 中里 欣一 吉田 晃二 長谷川 久一 佐藤 四良 23年 竹内 仲吉 伊東 光一 宗片 善夫 24年 小野田 善夫 相馬 隆介 阿部 善之 菊池 安行 柴田 卓爾 村井 正治 川島 幸之輔 25年 植木 清哉 鈴木 雄三 今野 卓男 伊藤 茂登 佐々木 睦雄 富樫 康吾 丸谷 錦吾 細井 地久 菅原 良雄 26年 廣瀬 信幸 本間 英明 皆川 騰 窪田 要子 竹山 幸也 伊藤 善吉 阿部 純二 長濱 明 梅津 迪子 板垣 省吾 相馬 新一 佐藤 俊彦 佐藤 四郎 風間 蓉子 早川 恒子 長谷川 実 斎藤 祐輔 横山 隆治 山口 鶴子 奥田 隆男	27年 四田 誠 川島 幸子 増田 誠 佐藤 健三 斎藤 右三 地井 恭子 田部 久靖 海瀬 輝之 池田 成生 佐藤 瑛子 佐藤 瑛子 西 秀 吉田 源吾 橋本 信子 犬塚 庸子 石田 晋 増田 浩子 大滝 哲郎 桑原 貫次 山越 廉 山口 直明 建部 良三 渡部 啓三 佐藤 次郎 順 順 若林 英一 石井 忍 丸山 智子 斎藤 優三 土岐 恒二 杉本 欽也 加藤 誠 小杉 信 竹澤 雅二 藤滝 俊 文昭 鈴木 二郎 斎藤 文夫 茂木 勲 豊満 郁子 佐久間 美津雄 29年 菅原 謹二 大澤 弘之 静 静 山中 昊吉 坂 寛 山内 敬一 志村 頼子 大瀬 振 田中 力 佐藤 千枝 川村 住 南 かね 土田 栄治 岡田 すみ 丸濱 子 福井 博 渡辺 美枝子 坂本 玲子 村井 三平 川島 譲 三浦 郁也 弘川 郁子 江川 美津子 権藤 泰浩 島海 秀介 上原 圭子 加藤 宣 小田 里子 万年 宏子 船岡 栄子 山口 公子 中村 姚 石川 宇女 石川 啓輔 落合 良 菊地 晴 長谷川 きみ子	30年 池田 ふみ夫 奥田 武 山口 徹 高橋 政一 田澤 敬子 菅原 重一 鈴木 清 若林 庸夫 武田 友樹 石田 和子 飯塚 進 高橋 進 工藤 司朗 池田 惇二 五十嵐 隆二 佐藤 一雄 奥山 綏 長崎 種子 廣瀬 ノ芽 瀬尾 恒雄 富樫 薫 三浦 五八 高橋 宏榮 安河 喜子 諏訪 百美子 重山 貞夫 諏訪 勇 梅本 克彦 外池 連子 齋藤 千史 佐久間 正二 佐藤 宏 佐藤 平 五十嵐 憲治 大滝 幸克 平田 恒雄 志賀 道武 古野 八郎 齊藤 幸恵 岡田 恒祐 平石 玲 郷守 幸三 寺嶋 治範 榎本 堯 川口 南子 板垣 善博 磯見 明子 宮本 慶子 鈴木 忠昭 齋藤 弘 小澤 欣子 山田 祚穂 新井 健一 岡部 鉄太郎 佐藤 隆三 保科 信 河野 景子 鎌水 宜子 真嶋 美弥 小谷 野範子 小花 吉彦 吉島 知夫 佐藤 忠夫 鈴木 あさ子 永澤 万里野 榎本 克弘 友澤 里子 工藤 喜幸 渡部 明 小松 隆治 本間 義信	31年 齋藤 俊輔 阿部 文治 齋藤 正幸 泉谷 文穂 加藤 有紘 板倉 利安 佐藤 安行 高田 正雄 八向 勉 平沼 惇 齋藤 巖 梅木 実 渡部 和夫 佐藤 武雄 鷺田 誠治 佐藤 捷実 金井 功弼 板垣 正明 三矢 正士 鈴木 一 粕谷 英樹 橋本 健二 門脇 厚司 佐藤 千久郎 中嶋 茂 五十嵐 正紀 笹原 龍三 足達 哲郎 佐藤 政紀 大川 辰郎 阿部 敬治 齋藤 尚重 阿部 昭雄 佐藤 彰 佐藤 祐子 坂本 紀夫 岡田 宏 近藤 進 富樫 孝 阿部 茂弘 粕谷 淳二 大沼 順耳 稲垣 美恵子 佐藤 幹生 長谷川 正晴 池田 晃 寺嶋 成晃 本間 敬士 渡部 洋 荘司 保治 陶山 宏 徳永 功 菅原 実 佐藤 久喜 堀田 惇 多田 章子 庄司 功 栗田 久 冠木 敦子 真島 浩子 今間 洋一 赤松 孝子 櫻井 端 平川 論 大川 友彦 櫻井 斎藤 佐藤 清四郎 相田 進 渡部 忠夫 佐藤 勉 高橋 弥七 高橋 繁満 七森 英士 齋藤 睦	32年 齋藤 俊輔 阿部 文治 齋藤 正幸 泉谷 文穂 加藤 有紘 板倉 利安 佐藤 安行 高田 正雄 八向 勉 平沼 惇 齋藤 巖 梅木 実 渡部 和夫 佐藤 武雄 鷺田 誠治 佐藤 捷実 金井 功弼 板垣 正明 三矢 正士 鈴木 一 粕谷 英樹 橋本 健二 門脇 厚司 佐藤 千久郎 中嶋 茂 五十嵐 正紀 笹原 龍三 足達 哲郎 佐藤 政紀 大川 辰郎 阿部 敬治 齋藤 尚重 阿部 昭雄 佐藤 彰 佐藤 祐子 坂本 紀夫 岡田 宏 近藤 進 富樫 孝 阿部 茂弘 粕谷 淳二 大沼 順耳 稲垣 美恵子 佐藤 幹生 長谷川 正晴 池田 晃 寺嶋 成晃 本間 敬士 渡部 洋 荘司 保治 陶山 宏 徳永 功 菅原 実 佐藤 久喜 堀田 惇 多田 章子 庄司 功 栗田 久 冠木 敦子 真島 浩子 今間 洋一 赤松 孝子 櫻井 端 平川 論 大川 友彦 櫻井 斎藤 佐藤 清四郎 相田 進 渡部 忠夫 佐藤 勉 高橋 弥七 高橋 繁満 七森 英士 齋藤 睦	33年 齋藤 俊輔 阿部 文治 齋藤 正幸 泉谷 文穂 加藤 有紘 板倉 利安 佐藤 安行 高田 正雄 八向 勉 平沼 惇 齋藤 巖 梅木 実 渡部 和夫 佐藤 武雄 鷺田 誠治 佐藤 捷実 金井 功弼 板垣 正明 三矢 正士 鈴木 一 粕谷 英樹 橋本 健二 門脇 厚司 佐藤 千久郎 中嶋 茂 五十嵐 正紀 笹原 龍三 足達 哲郎 佐藤 政紀 大川 辰郎 阿部 敬治 齋藤 尚重 阿部 昭雄 佐藤 彰 佐藤 祐子 坂本 紀夫 岡田 宏 近藤 進 富樫 孝 阿部 茂弘 粕谷 淳二 大沼 順耳 稲垣 美恵子 佐藤 幹生 長谷川 正晴 池田 晃 寺嶋 成晃 本間 敬士 渡部 洋 荘司 保治 陶山 宏 徳永 功 菅原 実 佐藤 久喜 堀田 惇 多田 章子 庄司 功 栗田 久 冠木 敦子 真島 浩子 今間 洋一 赤松 孝子 櫻井 端 平川 論 大川 友彦 櫻井 斎藤 佐藤 清四郎 相田 進 渡部 忠夫 佐藤 勉 高橋 弥七 高橋 繁満 七森 英士 齋藤 睦	34年 齋藤 俊輔 阿部 文治 齋藤 正幸 泉谷 文穂 加藤 有紘 板倉 利安 佐藤 安行 高田 正雄 八向 勉 平沼 惇 齋藤 巖 梅木 実 渡部 和夫 佐藤 武雄 鷺田 誠治 佐藤 捷実 金井 功弼 板垣 正明 三矢 正士 鈴木 一 粕谷 英樹 橋本 健二 門脇 厚司 佐藤 千久郎 中嶋 茂 五十嵐 正紀 笹原 龍三 足達 哲郎 佐藤 政紀 大川 辰郎 阿部 敬治 齋藤 尚重 阿部 昭雄 佐藤 彰 佐藤 祐子 坂本 紀夫 岡田 宏 近藤 進 富樫 孝 阿部 茂弘 粕谷 淳二 大沼 順耳 稲垣 美恵子 佐藤 幹生 長谷川 正晴 池田 晃 寺嶋 成晃 本間 敬士 渡部 洋 荘司 保治 陶山 宏 徳永 功 菅原 実 佐藤 久喜 堀田 惇 多田 章子 庄司 功 栗田 久 冠木 敦子 真島 浩子 今間 洋一 赤松 孝子 櫻井 端 平川 論 大川 友彦 櫻井 斎藤 佐藤 清四郎 相田 進 渡部 忠夫 佐藤 勉 高橋 弥七 高橋 繁満 七森 英士 齋藤 睦	35年 齋藤 俊輔 阿部 文治 齋藤 正幸 泉谷 文穂 加藤 有紘 板倉 利安 佐藤 安行 高田 正雄 八向 勉 平沼 惇 齋藤 巖 梅木 実 渡部 和夫 佐藤 武雄 鷺田 誠治 佐藤 捷実 金井 功弼 板垣 正明 三矢 正士 鈴木 一 粕谷 英樹 橋本 健二 門脇 厚司 佐藤 千久郎 中嶋 茂 五十嵐 正紀 笹原 龍三 足達 哲郎 佐藤 政紀 大川 辰郎 阿部 敬治 齋藤 尚重 阿部 昭雄 佐藤 彰 佐藤 祐子 坂本 紀夫 岡田 宏 近藤 進 富樫 孝 阿部 茂弘 粕谷 淳二 大沼 順耳 稲垣 美恵子 佐藤 幹生 長谷川 正晴 池田 晃 寺嶋 成晃 本間 敬士 渡部 洋 荘司 保治 陶山 宏 徳永 功 菅原 実 佐藤 久喜 堀田 惇 多田 章子 庄司 功 栗田 久 冠木 敦子 真島 浩子 今間 洋一 赤松 孝子 櫻井 端 平川 論 大川 友彦 櫻井 斎藤 佐藤 清四郎 相田 進 渡部 忠夫 佐藤 勉 高橋 弥七 高橋 繁満 七森 英士 齋藤 睦	36年 齋藤 俊輔 阿部 文治 齋藤 正幸 泉谷 文穂 加藤 有紘 板倉 利安 佐藤 安行 高田 正雄 八向 勉 平沼 惇 齋藤 巖 梅木 実 渡部 和夫 佐藤 武雄 鷺田 誠治 佐藤 捷実 金井 功弼 板垣 正明 三矢 正士 鈴木 一 粕谷 英樹 橋本 健二 門脇 厚司 佐藤 千久郎 中嶋 茂 五十嵐 正紀 笹原 龍三 足達 哲郎 佐藤 政紀 大川 辰郎 阿部 敬治 齋藤 尚重 阿部 昭雄 佐藤 彰 佐藤 祐子 坂本 紀夫 岡田 宏 近藤 進 富樫 孝 阿部 茂弘 粕谷 淳二 大沼 順耳 稲垣 美恵子 佐藤 幹生 長谷川 正晴 池田 晃 寺嶋 成晃 本間 敬士 渡部 洋 荘司 保治 陶山 宏 徳永 功 菅原 実 佐藤 久喜 堀田 惇 多田 章子 庄司 功 栗田 久 冠木 敦子 真島 浩子 今間 洋一 赤松 孝子 櫻井 端 平川 論 大川 友彦 櫻井 斎藤 佐藤 清四郎 相田 進 渡部 忠夫 佐藤 勉 高橋 弥七 高橋 繁満 七森 英士 齋藤 睦	37年 齋藤 俊輔 阿部 文治 齋藤 正幸 泉谷 文穂 加藤 有紘 板倉 利安 佐藤 安行 高田 正雄 八向 勉 平沼 惇 齋藤 巖 梅木 実 渡部 和夫 佐藤 武雄 鷺田 誠治 佐藤 捷実 金井 功弼 板垣 正明 三矢 正士 鈴木 一 粕谷 英樹 橋本 健二 門脇 厚司 佐藤 千久郎 中嶋 茂 五十嵐 正紀 笹原 龍三 足達 哲郎 佐藤 政紀 大川 辰郎 阿部 敬治 齋藤 尚重 阿部 昭雄 佐藤 彰 佐藤 祐子 坂本 紀夫 岡田 宏 近藤 進 富樫 孝 阿部 茂弘 粕谷 淳二 大沼 順耳 稲垣 美恵子 佐藤 幹生 長谷川 正晴 池田 晃 寺嶋 成晃 本間 敬士 渡部 洋 荘司 保治 陶山 宏 徳永 功 菅原 実 佐藤 久喜 堀田 惇 多田 章子 庄司 功 栗田 久 冠木 敦子 真島 浩子 今間 洋一 赤松 孝子 櫻井 端 平川 論 大川 友彦 櫻井 斎藤 佐藤 清四郎 相田 進 渡部 忠夫 佐藤 勉 高橋 弥七 高橋 繁満 七森 英士 齋藤 睦	38年 磯部 俊和 菅 徹 真嶋 俊平 森田 良治 松島 邦 佐藤 和敏 林 和夫 成田 雄士 本間 祐二 青木 彦雄 今野 正彦 鎌田 清一 木村 清彦 工藤 雅子 三浦 勝 伴 雄次 石川 二郎 石塚 吉士 古村 一枝 黒羽 恒子 武田 二郎 佐藤 志郎 安倍 良男 佐藤 征洋 星野 武紘 菅原 勲生 吉田 正俊 堀 上野 菅井 誠一 志賀 嘉美 中西 一角 庄司 誠 尾形 文子 太田 良弘 五十嵐 房夫 福原 正和 小林 啓二 太田 司郎 忠鉢 仁 富樫 次男 寒江 孝允 長江 和子 多田 修二 土井 一郎 大橋 貴恵 齊藤 淑人 土岐 寛 菅原 高志 伊藤 進康 上林 治 中野 二男 細野 美保 阿部 洋介 地主 忠夫 菅原 通敬 芳賀 俊郎 上林 正己 阿部 良一 佐藤 祐一 佐藤 克広 五十嵐 耕三 五十嵐 悟 菅原 克己 相馬 省記 砂田 茂宏 三浦 信次 成田 仙一 小鷹 光雄 大塚 恒士 兼子 久 大沼 悌三 伊達 美子 高橋 義昭 高橋 恵子 大館 敬一 滝沢 潤 齋藤 豊三	39年 磯部 俊和 菅 徹 真嶋 俊平 森田 良治 松島 邦 佐藤 和敏 林 和夫 成田 雄士 本間 祐二 青木 彦雄 今野 正彦 鎌田 清一 木村 清彦 工藤 雅子 三浦 勝 伴 雄次 石川 二郎 石塚 吉士 古村 一枝 黒羽 恒子 武田 二郎 佐藤 志郎 安倍 良男 佐藤 征洋 星野 武紘 菅原 勲生 吉田 正俊 堀 上野 菅井 誠一 志賀 嘉美 中西 一角 庄司 誠 尾形 文子 太田 良弘 五十嵐 房夫 福原 正和 小林 啓二 太田 司郎 忠鉢 仁 富樫 次男 寒江 孝允 長江 和子 多田 修二 土井 一郎 大橋 貴恵 齊藤 淑人 土岐 寛 菅原 高志 伊藤 進康 上林 治 中野 二男 細野 美保 阿部 洋介 地主 忠夫 菅原 通敬 芳賀 俊郎 上林 正己 阿部 良一 佐藤 祐一 佐藤 克広 五十嵐 耕三 五十嵐 悟 菅原 克己 相馬 省記 砂田 茂宏 三浦 信次 成田 仙一 小鷹 光雄 大塚 恒士 兼子 久 大沼 悌三 伊達 美子 高橋 義昭 高橋 恵子 大館 敬一 滝沢 潤 齋藤 豊三	40年 磯部 俊和 菅 徹 真嶋 俊平 森田 良治 松島 邦 佐藤 和敏 林 和夫 成田 雄士 本間 祐二 青木 彦雄 今野 正彦 鎌田 清一 木村 清彦 工藤 雅子 三浦 勝 伴 雄次 石川 二郎 石塚 吉士 古村 一枝 黒羽 恒子 武田 二郎 佐藤 志郎 安倍 良男 佐藤 征洋 星野 武紘 菅原 勲生 吉田 正俊 堀 上野 菅井 誠一 志賀 嘉美 中西 一角 庄司 誠 尾形 文子 太田 良弘 五十嵐 房夫 福原 正和 小林 啓二 太田 司郎 忠鉢 仁 富樫 次男 寒江 孝允 長江 和子 多田 修二 土井 一郎 大橋 貴恵 齊藤 淑人 土岐 寛 菅原 高志 伊藤 進康 上林 治 中野 二男 細野 美保 阿部 洋介 地主 忠夫 菅原 通敬 芳賀 俊郎 上林 正己 阿部 良一 佐藤 祐一 佐藤 克広 五十嵐 耕三 五十嵐 悟 菅原 克己 相馬 省記 砂田 茂宏 三浦 信次 成田 仙一 小鷹 光雄 大塚 恒士 兼子 久 大沼 悌三 伊達 美子 高橋 義昭 高橋 恵子 大館 敬一 滝沢 潤 齋藤 豊三	41年 土岐 紀子 岩城 清一 上野 藤吉 木根 淵直子 木根 淵光夫 山口 久輝 斉藤 輝峰 鈴木 斉正 佐久間 照正 ※無記名 小野 俊一 佐藤 智 立井 静枝 中村 由紀子 中村 正彦 関根 勉 高田 京子 永井 憲雄 笹原 研 小野 寺光 斎藤 真一 成澤 正幸 門野 陽 荒田 盈一 佐藤 巖 高嶋 勝平 赤松 栄一郎 齐藤 弥市 丸岡 道子 中川 節子 丸山 治 五十嵐 丕 石川 まさ井 渡辺 勉 吉田 隆一 伊藤 惠美子 土田 利彦 二宮 公子 新村 紀子 橋本 暁 戸田 幸一 平山 静夫 未澤 章子 田畑 都子 広木 由美子 田中 晶子 吉川 治雄 牧 幸 古野 章三 丸屋 好久 渡辺 規 梅岡 正暉 窪井 かよ子 富樫 繁明 高橋 正良 山岡 千嘉子 栗本 絢子 栗本 浩 額田 新太郎 中山 秀 青島 時子 桂 誠 佐藤 秀子 舌津 一良 千田 優子 木戸 美記子 指田 重治郎 井上 優子 吉田 敬一 坂田 恵子 中島 清助 石黒 義昭 服部 文雄 岡部 次樹 佐藤 博	42年 土岐 紀子 岩城 清一 上野 藤吉 木根 淵直子 木根 淵光夫 山口 久輝 斉藤 輝峰 鈴木 斉正 佐久間 照正 ※無記名 小野 俊一 佐藤 智 立井 静枝 中村 由紀子 中村 正彦 関根 勉 高田 京子 永井 憲雄 笹原 研 小野 寺光 斎藤 真一 成澤 正幸 門野 陽 荒田 盈一 佐藤 巖 高嶋 勝平 赤松 栄一郎 齐藤 弥市 丸岡 道子 中川 節子 丸山 治 五十嵐 丕 石川 まさ井 渡辺 勉 吉田 隆一 伊藤 惠美子 土田 利彦 二宮 公子 新村 紀子 橋本 暁 戸田 幸一 平山 静夫 未澤 章子 田畑 都子 広木 由美子 田中 晶子 吉川 治雄 牧 幸 古野 章三 丸屋 好久 渡辺 規 梅岡 正暉 窪井 かよ子 富樫 繁明 高橋 正良 山岡 千嘉子 栗本 絢子 栗本 浩 額田 新太郎 中山 秀 青島 時子 桂 誠 佐藤 秀子 舌津 一良 千田 優子 木戸 美記子 指田 重治郎 井上 優子 吉田 敬一 坂田 恵子 中島 清助 石黒 義昭 服部 文雄 岡部 次樹 佐藤 博	43年 土岐 紀子 岩城 清一 上野 藤吉 木根 淵直子 木根 淵光夫 山口 久輝 斉藤 輝峰 鈴木 斉正 佐久間 照正 ※無記名 小野 俊一 佐藤 智 立井 静枝 中村 由紀子 中村 正彦 関根 勉 高田 京子 永井 憲雄 笹原 研 小野 寺光 斎藤 真一 成澤 正幸 門野 陽 荒田 盈一 佐藤 巖 高嶋 勝平 赤松 栄一郎 齐藤 弥市 丸岡 道子 中川 節子 丸山 治 五十嵐 丕 石川 まさ井 渡辺 勉 吉田 隆一 伊藤 惠美子 土田 利彦 二宮 公子 新村 紀子 橋本 暁 戸田 幸一 平山 静夫 未澤 章子 田畑 都子 広木 由美子 田中 晶子 吉川 治雄 牧 幸 古野 章三 丸屋 好久 渡辺 規 梅岡 正暉 窪井 かよ子 富樫 繁明 高橋 正良 山岡 千嘉子 栗本 絢子 栗本 浩 額田 新太郎 中山 秀 青島 時子 桂 誠 佐藤 秀子 舌津 一良 千田 優子 木戸 美記子 指田 重治郎 井上 優子 吉田 敬一 坂田 恵子 中島 清助 石黒 義昭 服部 文雄 岡部 次樹 佐藤 博	44年 梅津 千里 海由紀 厚子 塩貝 英一 佐藤 高夫 伊藤 大二 中谷 裕二 坂本 妙子 進藤 仁 松浦 かおる 島本 泰子 阿部 正 新野 由紀子 菅野 真一 野田 真一 小林 紀雄 木村 鎮雄 風間 寛 佐藤 貞夫 保多 由子 遠藤 隆 横田 順二 杉山 恵子 三浦 健 菅原 清彦 伊原 豊 清原 晃 加藤 英喜 上野 巧 村田 敏一郎 梅津 準士 鹿野 信一 菅原 等 菅原 誠二 百瀬 義昭 久藤 仁子 黒川 俊美 坪井 真理 庄司 秀昭 今野 千保 齋藤 順治 小林 桂子 丹下 義英 野間 耕治 奥村 智子 鈴木 晴彦 今野 透 荒田 精二 上野 千鶴 布川 毅 阿部 勝好 坂田 俊次 南澤 正敏 井ノ口 明子 山岡 こと 乙幡 利明 百瀬 ゆり子 石川 康博 登坂 光理 今野 りつ 板垣 厚 荒木 陽子 上野 聡一郎 若木 保 渡部 高登 野崎 嘉子 中田 茂 林 茂 奥山 清 中西 庸 渡邊 春信 奥山 宏子 五十嵐 清助 佐藤 雄喜 門脇 千子 齋藤 和春 江部 信夫	45年 梅津 千里 海由紀 厚子 塩貝 英一 佐藤 高夫 伊藤 大二 中谷 裕二 坂本 妙子 進藤 仁 松浦 かおる 島本 泰子 阿部 正 新野 由紀子 菅野 真一 野田 真一 小林 紀雄 木村 鎮雄 風間 寛 佐藤 貞夫 保多 由子 遠藤 隆 横田 順二 杉山 恵子 三浦 健 菅原 清彦 伊原 豊 清原 晃 加藤 英喜 上野 巧 村田 敏一郎 梅津 準士 鹿野 信一 菅原 等 菅原 誠二 百瀬 義昭 久藤 仁子 黒川 俊美 坪井 真理 庄司 秀昭 今野 千保 齋藤 順治 小林 桂子 丹下 義英 野間 耕治 奥村 智子 鈴木 晴彦 今野 透 荒田 精二 上野 千鶴 布川 毅 阿部 勝好 坂田 俊次 南澤 正敏 井ノ口 明子 山岡 こと 乙幡 利明 百瀬 ゆり子 石川 康博 登坂 光理 今野 りつ 板垣 厚 荒木 陽子 上野 聡一郎 若木 保 渡部 高登 野崎 嘉子 中田 茂 林 茂 奥山 清 中西 庸 渡邊 春信 奥山 宏子 五十嵐 清助 佐藤 雄喜 門脇 千子 齋藤 和春 江部 信夫	46年 梅津 千里 海由紀 厚子 塩貝 英一 佐藤 高夫 伊藤 大二 中谷 裕二 坂本 妙子 進藤 仁 松浦 かおる 島本 泰子 阿部 正 新野 由紀子 菅野 真一 野田 真一 小林 紀雄 木村 鎮雄 風間 寛 佐藤 貞夫 保多 由子 遠藤 隆 横田 順二 杉山 恵子 三浦 健 菅原 清彦 伊原 豊 清原 晃 加藤 英喜 上野 巧 村田 敏一郎 梅津 準士 鹿野 信一 菅原 等 菅原 誠二 百瀬 義昭 久藤 仁子 黒川 俊美 坪井 真理 庄司 秀昭 今野 千保 齋藤 順治 小林 桂子 丹下 義英 野間 耕治 奥村 智子 鈴木 晴彦 今野 透 荒田 精二 上野 千鶴 布川 毅 阿部 勝好 坂田 俊次 南澤 正敏 井ノ口 明子 山岡 こと 乙幡 利明 百瀬 ゆり子 石川 康博 登坂 光理 今野 りつ 板垣 厚 荒木 陽子 上野 聡一郎 若木 保 渡部 高登 野崎 嘉子 中田 茂 林 茂 奥山 清 中西 庸 渡邊 春信 奥山 宏子 五十嵐 清助 佐藤 雄喜 門脇 千子 齋藤 和春 江部 信夫	47年 梅津 千里 海由紀 厚子 塩貝 英一 佐藤 高夫 伊藤 大二 中谷 裕二 坂本 妙子 進藤 仁 松浦 かおる 島本 泰子 阿部 正 新野 由紀子 菅野 真一 野田 真一 小林 紀雄 木村 鎮雄 風間 寛 佐藤 貞夫 保多 由子 遠藤 隆 横田 順二 杉山 恵子 三浦 健 菅原 清彦 伊原 豊 清原 晃 加藤 英喜 上野 巧 村田 敏一郎 梅津 準士 鹿野 信一 菅原 等 菅原 誠二 百瀬 義昭 久藤 仁子 黒川 俊美 坪井 真理 庄司 秀昭 今野 千保 齋藤 順治 小林 桂子 丹下 義英 野間 耕治 奥村 智子 鈴木 晴彦 今野 透 荒田 精二 上野 千鶴 布川 毅 阿部 勝好 坂田 俊次 南澤 正敏 井ノ口 明子 山岡 こと 乙幡 利明 百瀬 ゆり子 石川 康博 登坂 光理 今野 りつ 板垣 厚 荒木 陽子 上野 聡一郎 若木 保 渡部 高登 野崎 嘉子 中田 茂 林 茂 奥山 清 中西 庸 渡邊 春信 奥山 宏子 五十嵐 清助 佐藤 雄喜 門脇 千子 齋藤 和春 江部 信夫	48年 梅津 千里 海由紀 厚子 塩貝 英一 佐藤 高夫 伊藤 大二 中谷 裕二 坂本 妙子 進藤 仁 松浦 かおる 島本 泰子 阿部 正 新野 由紀子 菅野 真一 野田 真一 小林 紀雄 木村 鎮雄 風間 寛 佐藤 貞夫 保多 由子 遠藤 隆 横田 順二 杉山 恵子 三浦 健 菅原 清彦 伊原 豊 清原 晃 加藤 英喜 上野 巧 村田 敏一郎 梅津 準士 鹿野 信一 菅原 等 菅原 誠二 百瀬 義昭 久藤 仁子 黒川 俊美 坪井 真理 庄司 秀昭 今野 千保 齋藤 順治 小林 桂子 丹下 義英 野間 耕治 奥村 智子 鈴木 晴彦 今野 透 荒田 精二 上野 千鶴 布川 毅 阿部 勝好 坂田 俊次 南澤 正敏 井ノ口 明子 山岡 こと 乙幡 利明 百瀬 ゆり子 石川 康博 登坂 光理 今野 りつ 板垣 厚 荒木 陽子 上野 聡一郎 若木 保 渡部 高登 野崎 嘉子 中田 茂 林 茂 奥山 清 中西 庸 渡邊 春信 奥山 宏子 五十嵐 清助 佐藤 雄喜 門脇 千子 齋藤 和春 江部 信夫	49年 梅津 千里 海由紀 厚子 塩貝 英一 佐藤 高夫 伊藤 大二 中谷 裕二 坂本 妙子 進藤 仁 松浦 かおる 島本 泰子 阿部 正 新野 由紀子 菅野 真一 野田 真一 小林 紀雄 木村 鎮雄 風間 寛 佐藤 貞夫 保多 由子 遠藤 隆 横田 順二 杉山 恵子 三浦 健 菅原 清彦 伊原 豊 清原 晃 加藤 英喜 上野 巧 村田 敏一郎 梅津 準士 鹿野 信一 菅原 等 菅原 誠二 百瀬 義昭 久藤 仁子 黒川 俊美 坪井 真理 庄司 秀昭 今野 千保 齋藤 順治 小林 桂子 丹下 義英 野間 耕治 奥村 智子 鈴木 晴彦 今野 透 荒田 精二 上野 千鶴 布川 毅 阿部 勝好 坂田 俊次 南澤 正敏 井ノ口 明子 山岡 こと 乙幡 利明 百瀬 ゆり子 石川 康博 登坂 光理 今野 りつ 板垣 厚 荒木 陽子 上野 聡一郎 若木 保 渡部 高登 野崎 嘉子 中田 茂 林 茂 奥山 清 中西 庸 渡邊 春信 奥山 宏子 五十嵐 清助 佐藤 雄喜 門脇 千子 齋藤 和春 江部 信夫	50年 梅津 千里 海由紀 厚子 塩貝 英一 佐藤 高夫 伊藤 大二 中谷 裕二 坂本 妙子 進藤 仁 松浦 かおる 島本 泰子 阿部 正 新野 由紀子 菅野 真一 野田 真一 小林 紀雄 木村 鎮雄 風間 寛 佐藤 貞夫 保多 由子 遠藤 隆 横田 順二 杉山 恵子 三浦 健 菅原 清彦 伊原 豊 清原 晃 加藤 英喜 上野 巧 村田 敏一郎 梅津 準士 鹿野 信一 菅原 等 菅原 誠二 百瀬 義昭 久藤 仁子 黒川 俊美 坪井 真理 庄司 秀昭 今野 千保 齋藤 順治 小林 桂子 丹下 義英 野間 耕治 奥村 智子 鈴木 晴彦 今野 透 荒田 精二 上野 千鶴 布川 毅 阿部 勝好 坂田 俊次 南澤 正敏 井ノ口 明子 山岡 こと 乙幡 利明 百瀬 ゆり子 石川 康博 登坂 光理 今野 りつ 板垣 厚 荒木 陽子 上野 聡一郎 若木 保 渡部 高登 野崎 嘉子 中田 茂 林 茂 奥山 清 中西 庸 渡邊 春信 奥山 宏子 五十嵐 清助 佐藤 雄喜 門脇 千子 齋藤 和春 江部 信夫	51年 梅津 千里 海由紀 厚子 塩貝 英一 佐藤 高夫 伊藤 大二 中谷 裕二 坂本 妙子 進藤 仁 松浦 かおる 島本 泰子 阿部 正 新野 由紀子 菅野 真一 野田 真一 小林 紀雄 木村 鎮雄 風間 寛 佐藤 貞夫 保多 由子 遠藤 隆 横田 順二 杉山 恵子 三浦 健 菅原 清彦 伊原 豊 清原 晃 加藤 英喜 上野 巧 村田 敏
------	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	---